

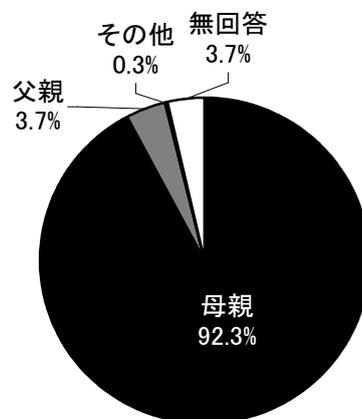
Ⅲ 小学校児童調査結果

1. 「お子さん」とご家族の状況

問1 調査票の回答者（単数回答）

調査の回答者については、「母親」が92.3%で最も多く、次いで「父親」が3.7%となっている。

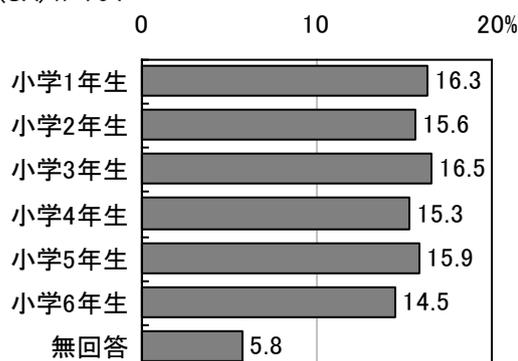
(SA) n=704



問2 「お子さん」の学年（数量回答）

「お子さん」の学年については、「小学3年生」が16.5%で最も多く、次いで「小学1年生」が16.3%、「小学5年生」が15.9%となっている。

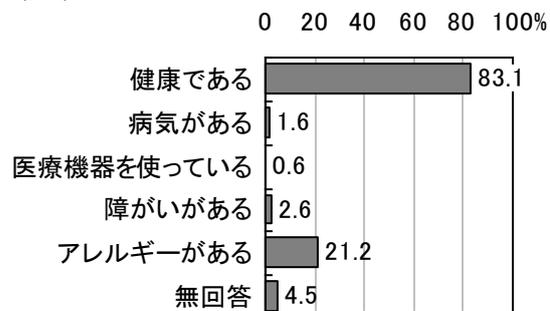
(SA) n=704



問3 「お子さん」の健康状況（複数回答）

子どもの健康状況については、「健康である」が83.1%で最も多く、次いで「アレルギーがある」が21.2%となっている。

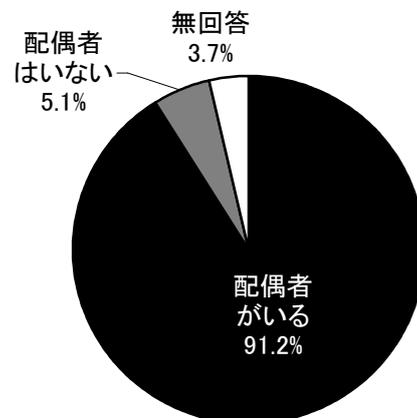
(MA) n=704



問4 調査回答者の配偶関係（単数回答）

調査回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が91.2%、「配偶者はいない」は5.1%となっている。

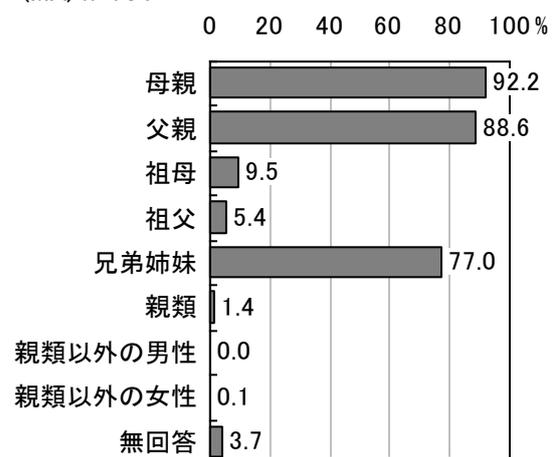
(SA) n=704



問5 「お子さん」の同居者（複数回答）

「お子さん」の同居者については、「母親」が92.2%、「父親」が88.6%とおおむね9割と多く、次いで「兄弟姉妹」が77.0%となっている。

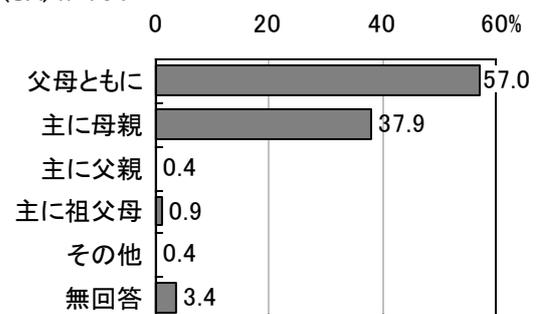
(MA) n=704



問6 「お子さん」の子育て（教育を含む）を主に行っている方（単数回答）

「お子さん」の子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が57.0%で最も多く、次いで「主に母親」が37.9%となっている。

(SA) n=704

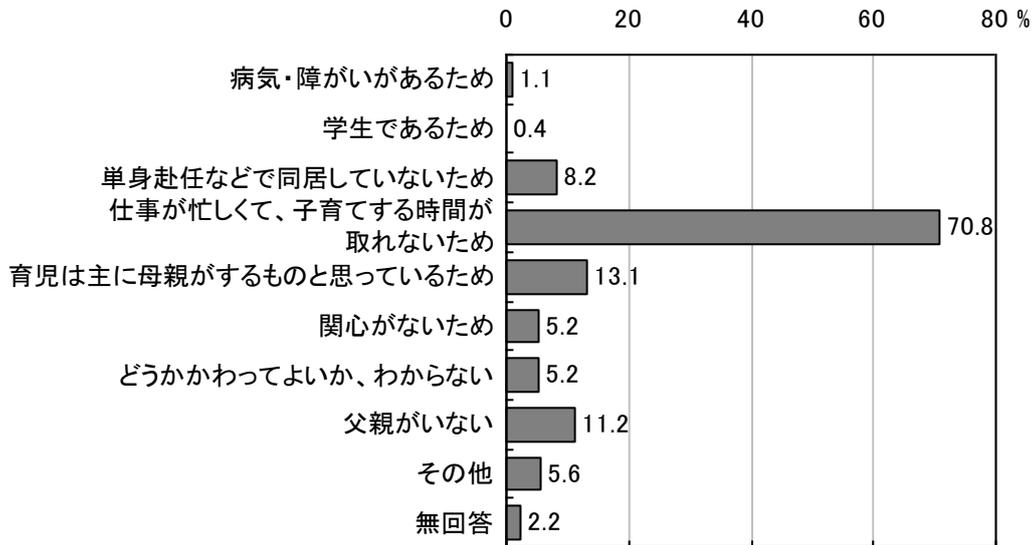


【問6で「2」（主に母親）に○をした方】

問6① 父親が子育てにかかわっていない場合の理由（複数回答）

父親が子育てにかかわっていない理由については、「仕事が忙しくて、子育てする時間が取れないため」が70.8%で最も多く、次いで「育児は主に母親がするものと思っているため」が13.1%となっている。

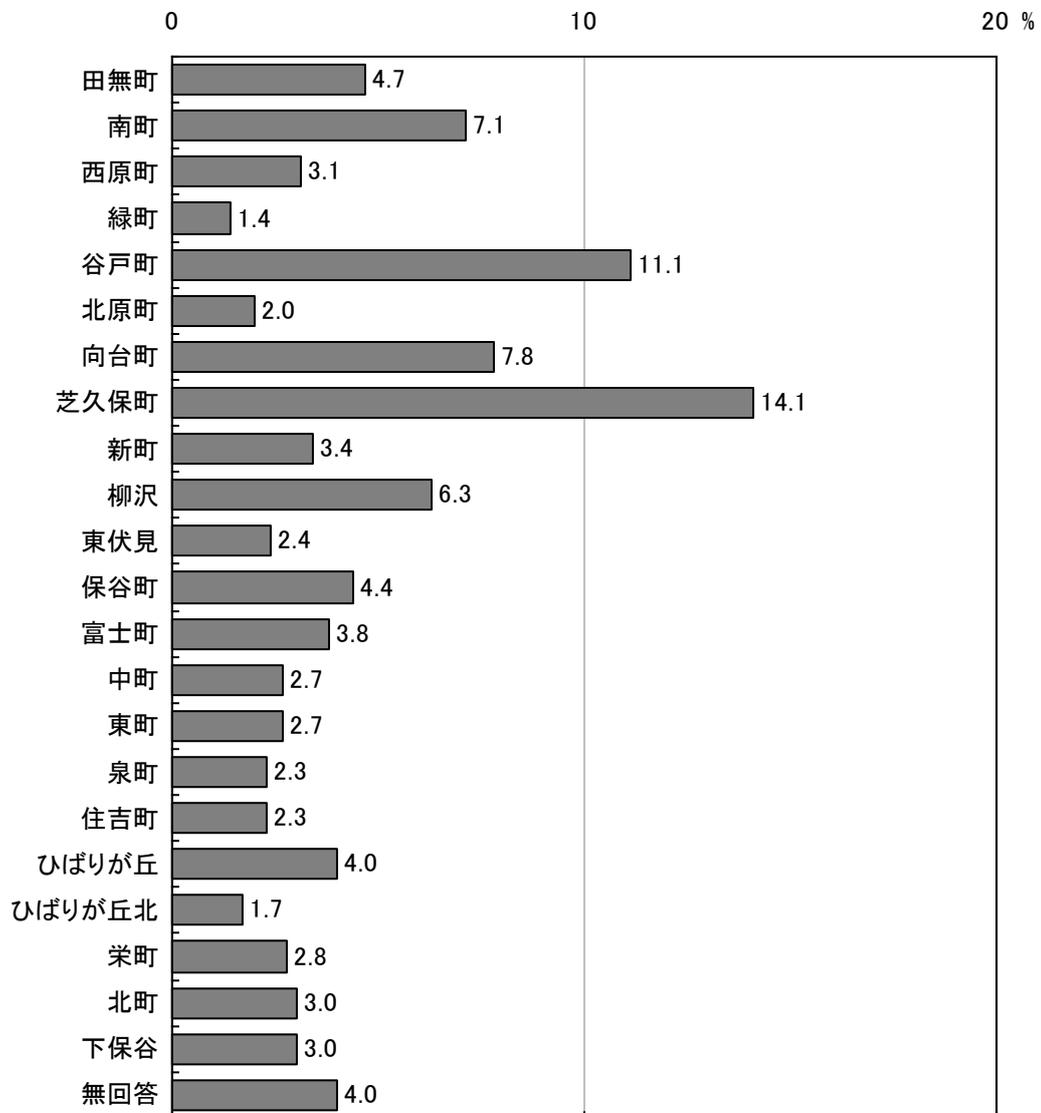
(MA) n=267



問7、8 お住まいのまち・丁目（単数回答・数量回答）

居住地区は、「芝久保町」が14.1%で最も多く、次いで「谷戸町」が11.1%、「向台町」が7.8%となっている。

(SA) n=704



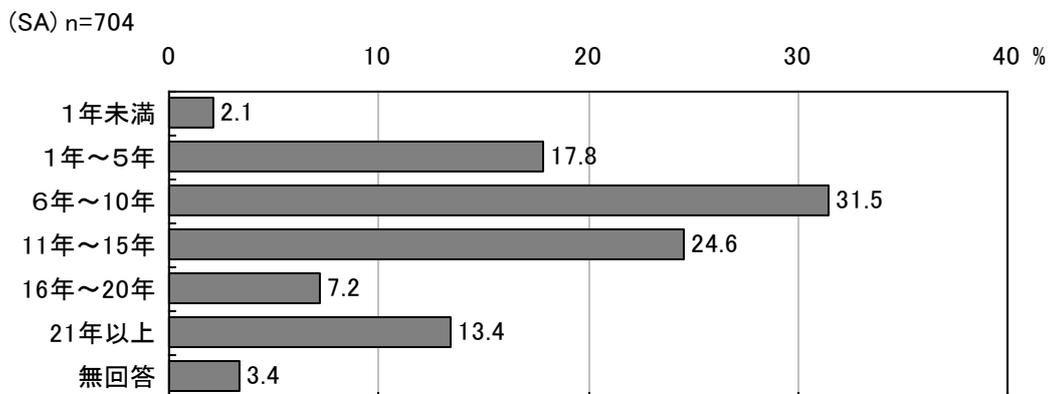
■地区別の丁目

地区別の丁目については以下のとおり。

上段:回答者数 下段:%	合計	1丁目	2丁目	3丁目	4丁目	5丁目	6丁目	7丁目	8丁目	9丁目	無回答
田無町	33 100.0	4 12.1	3 9.1	4 12.1	4 12.1	1 3.0	2 6.1	15 45.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
南町	50 100.0	8 16.0	6 12.0	12 24.0	7 14.0	7 14.0	10 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
西原町	22 100.0	4 18.2	3 13.6	4 18.2	7 31.8	4 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
緑町	10 100.0	1 10.0	6 60.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0
谷戸町	78 100.0	12 15.4	58 74.4	8 10.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
北原町	14 100.0	10 71.4	3 21.4	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
向台町	55 100.0	14 25.5	4 7.3	15 27.3	14 25.5	3 5.5	5 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
芝久保町	99 100.0	38 38.4	22 22.2	15 15.2	11 11.1	13 13.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
新町	24 100.0	2 8.3	3 12.5	4 16.7	3 12.5	9 37.5	3 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
柳沢	44 100.0	6 13.6	17 38.6	5 11.4	2 4.5	11 25.0	3 6.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
東伏見	17 100.0	1 5.9	1 5.9	4 23.5	7 41.2	3 17.6	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
保谷町	31 100.0	2 6.5	4 12.9	2 6.5	1 3.2	10 32.3	12 38.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
富士町	27 100.0	4 14.8	4 14.8	2 7.4	8 29.6	5 18.5	4 14.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
中町	19 100.0	2 10.5	1 5.3	4 21.1	6 31.6	5 26.3	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
東町	19 100.0	1 5.3	4 21.1	3 15.8	2 10.5	3 15.8	6 31.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
泉町	16 100.0	4 25.0	3 18.8	1 6.3	2 12.5	4 25.0	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
住吉町	16 100.0	3 18.8	1 6.3	5 31.3	2 12.5	3 18.8	2 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ひばりが丘	28 100.0	7 25.0	8 28.6	1 3.6	12 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ひばりが丘北	12 100.0	2 16.7	5 41.7	2 16.7	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
栄町	20 100.0	13 65.0	5 25.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
北町	21 100.0	1 4.8	7 33.3	4 19.0	1 4.8	6 28.6	1 4.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8
下保谷	21 100.0	4 19.0	6 28.6	2 9.5	1 4.8	8 38.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問9 居住年数（単数回答）

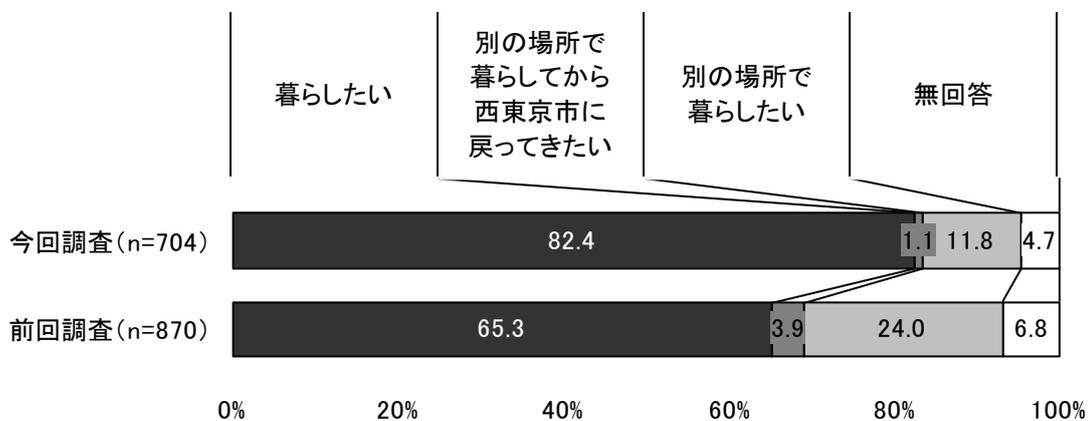
居住年数については、「6年～10年」が31.5%で最も多く、次いで「11年～15年」が24.6%、「1年～5年」が17.8%となっている。



問10 今後の居留意向（単数回答）

今後の居留意向については、「暮らしたい」が82.4%で最も多く、次いで「別の場所で暮らしたい」が11.8%となっている。

前回調査（2）と比較すると、「暮らしたい」が17.1ポイント増加している。



2. 保護者の就労状況

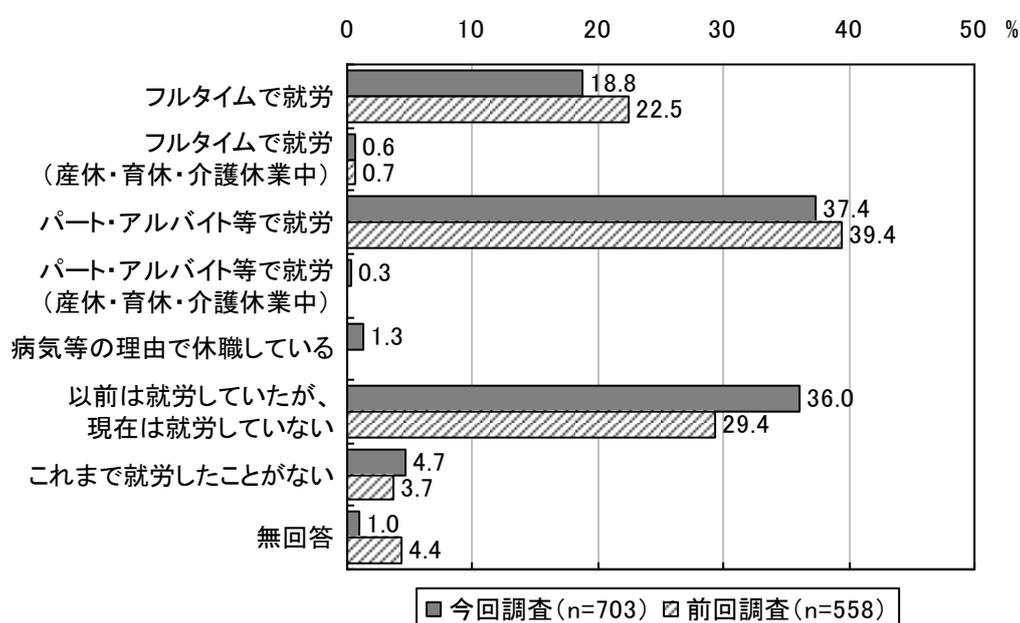
問 11 「お子さん」の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）

①母親 ※父子家庭の場合、記入不要（単数回答）

母親の就労状況については、「パート・アルバイト等で就労」が37.4%で最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が36.0%となっている。

週あたりの就労日数をみると、フルタイムで就労している人は「5日」、パート・アルバイト等で就労している人は3日～4日である場合が多くなっている。

前回調査（1）と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が6.6ポイント増加し、就労形態にかかわらず就労している人の割合は減少している。



【週あたりの就労日数】

日数	フルタイム n=132		フルタイム (産休等) n=4		パート・アルバイト n=263		パート・アルバイト (産休等) n=2	
	n	%	n	%	n	%	n	%
1日	0	0.0	0	0.0	13	4.9	0	0.0
2日	0	0.0	0	0.0	33	12.5	0	0.0
3日	1	0.8	0	0.0	73	27.8	0	0.0
4日	2	1.5	0	0.0	92	35.0	0	0.0
5日	107	81.1	3	75.0	44	16.7	2	100.0
6日	16	12.1	0	0.0	4	1.5	0	0.0
7日	3	2.3	0	0.0	2	0.8	0	0.0
無回答	3	2.3	1	25.0	2	0.8	0	0.0

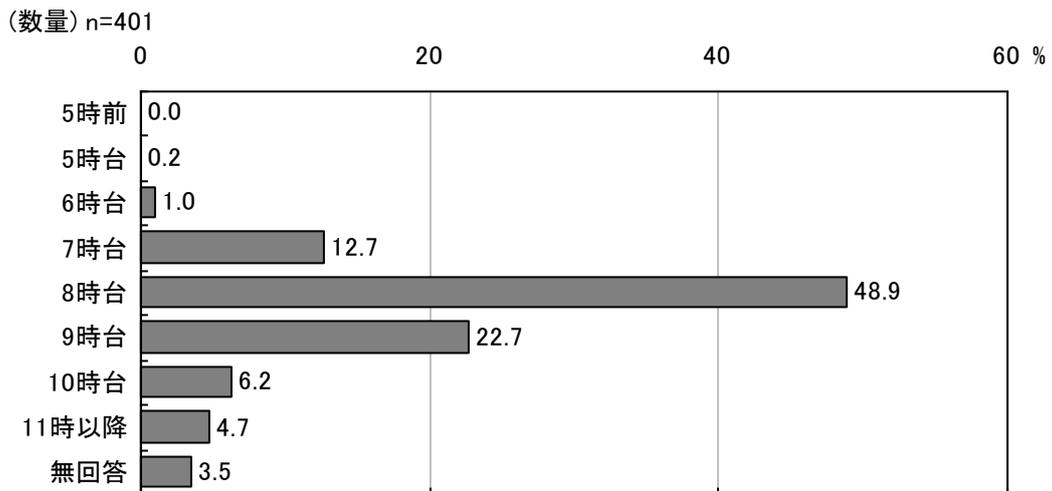
【①で「1」～「4」（就労している）に○をした方】

問 11①- 1 家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

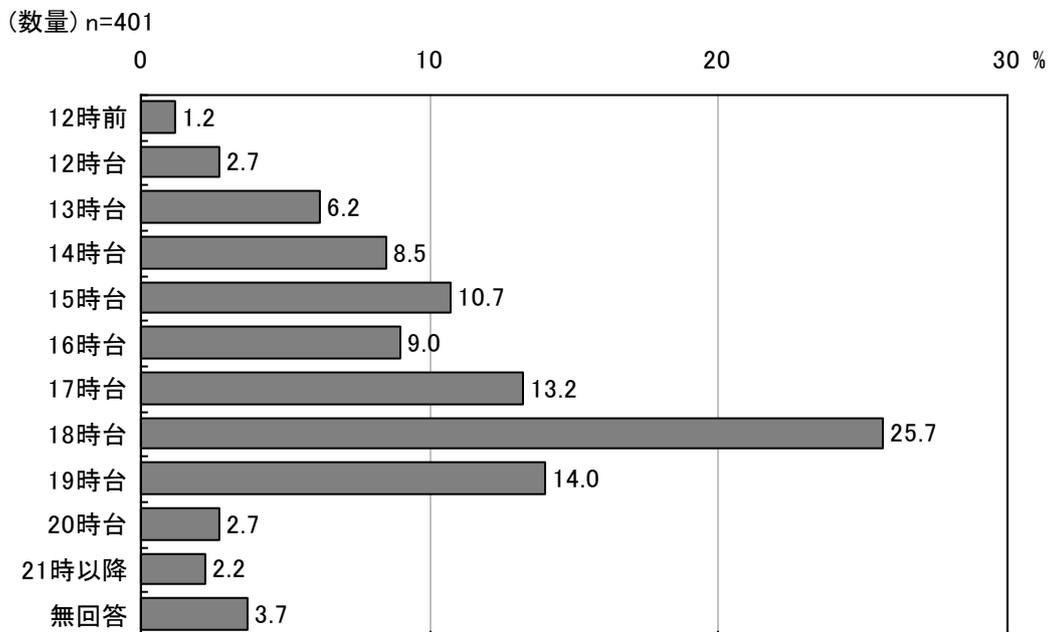
就労している母親の家を出る時間は、「8時台」が48.9%で最も多く、次いで「9時台」が22.7%、「7時台」が12.7%となっている。

帰宅時間は、「18時台」が25.7%で最も多く、次いで「19時台」が14.0%、「17時台」が13.2%となっている。

【家を出る時間】



【帰宅時間】

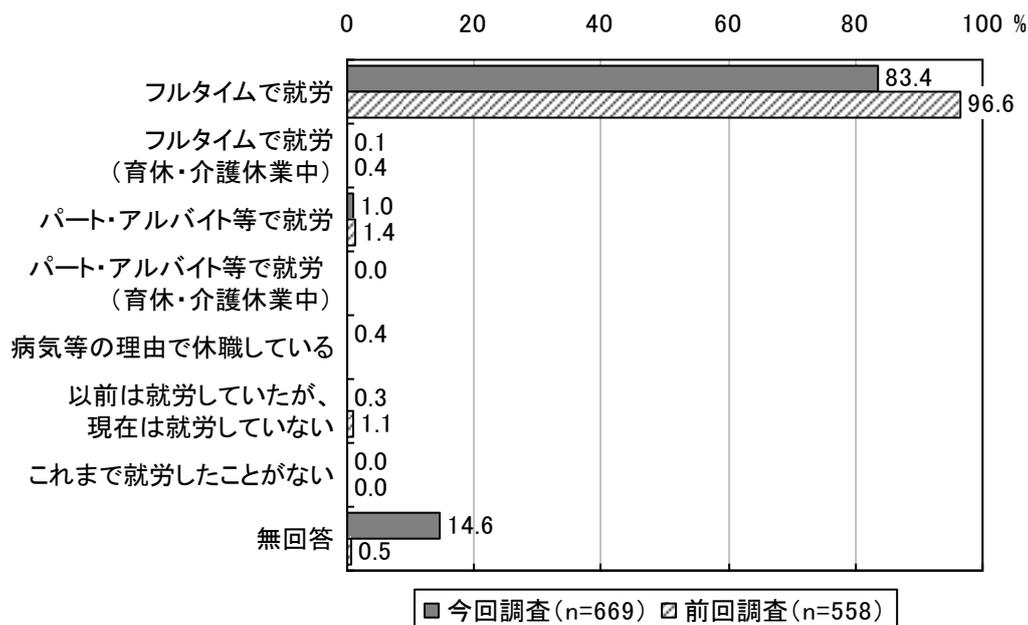


②父親 ※母子家庭の場合、記入不要（単数回答）

父親の就労状況については、「フルタイムで就労」が83.4%で8割を超えて最も多くなっている。

週あたりの就労日数をみると、フルタイムで就労している人の約7割は「5日」、2割半ばが「6日」となっている。また、パート・アルバイト等で就労している人は7人で、そのうち3人が「5日」となっている。

前回調査（1）と比較すると、「フルタイムで就労」が13.2ポイント減少している。



【週あたりの就労日数】

日数	フルタイム n=558		フルタイム (産休等) n=1		パート・アルバイト n=7		パート・アルバイト (産休等) 該当なし	
	n	%	n	%	n	%	n	%
1日	0	0.0	-	-	1	14.3	-	-
2日	2	0.4	-	-	0	0.0	-	-
3日	1	0.2	-	-	1	14.3	-	-
4日	3	0.5	-	-	1	14.3	-	-
5日	377	67.6	-	-	3	42.9	-	-
6日	137	24.6	-	-	0	0.0	-	-
7日	7	1.3	-	-	0	0.0	-	-
無回答	31	5.6	1	100.0	1	14.3	-	-

【②で「1」～「4」（就労している）に○をした方】

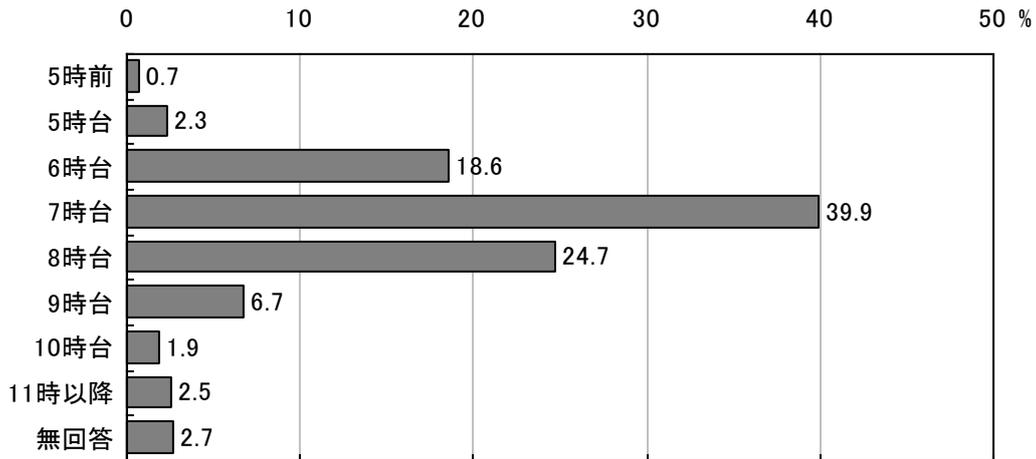
問 11②-1 家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

就労している父親の家を出る時間は、「7時台」が39.9%で最も多く、次いで「8時台」が24.7%、「6時台」が18.6%となっている。

帰宅時間は、「22時台」が20.3%で最も多く、次いで「21時台」が19.4%、「20時台」が16.8%となっている。

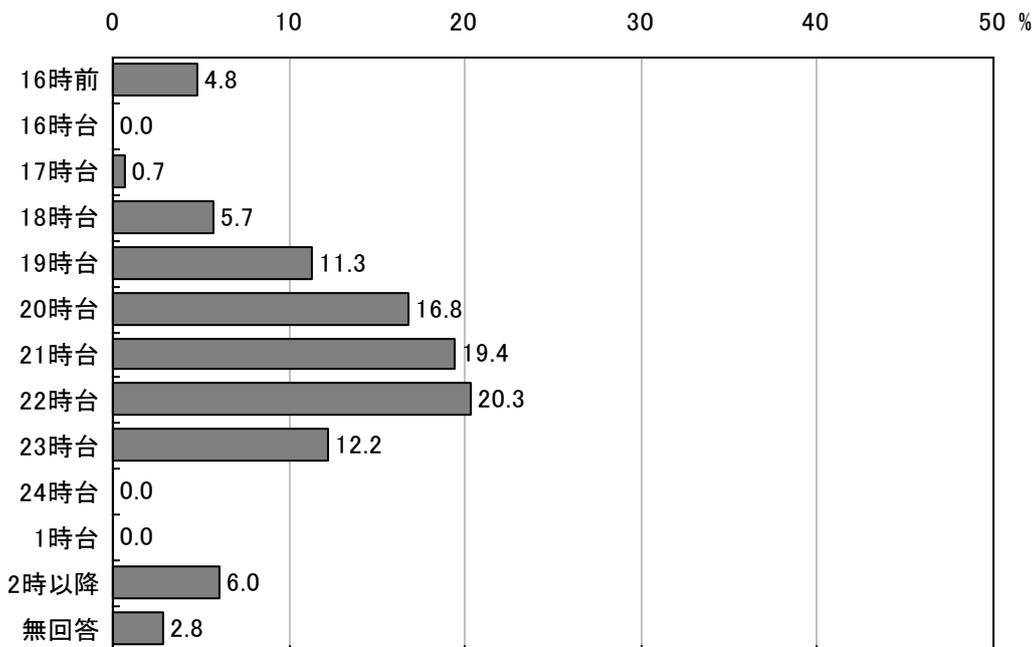
【家を出る時間】

(数量) n=566



【帰宅時間】

(数量) n=566

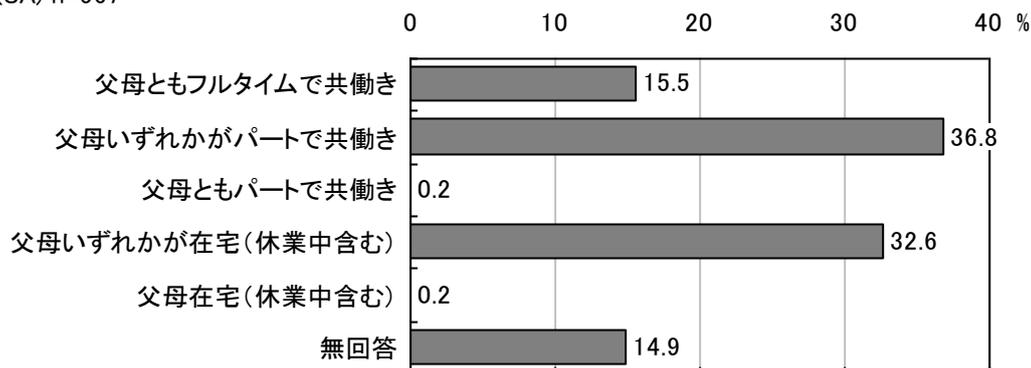


■共働きの状況

共働きの状況については、「父母いずれかがパートで共働き」が36.8%で最も多く、次いで「父母いずれかが在宅（休業中含む）」が32.6%となっている。就労形態にかかわらず共働きの世帯は半数を超えている。

学年別の共働きの状況をみると、小学1～2年生では「父母いずれかが在宅（休業中含む）」が4割以上、小学3年生以降では「父母いずれかがパートで共働き」が最も多く、特に小学5～6年生では4割から5割を超えている。

(SA) n=567



■「お子さん」の学年別の共働きの状況

上段:回答者数 下段:%	合計	父母ともフルタイムで共働き	父母いずれかがパートで共働き	父母ともパートで共働き	父母いずれかが在宅(休業中含む)	父母在宅(休業中含む)	無回答
小学1年生	106 100.0	21 19.8	26 24.5	0 0.0	44 41.5	0 0.0	15 14.2
小学2年生	104 100.0	16 15.4	29 27.9	0 0.0	42 40.4	0 0.0	17 16.3
小学3年生	112 100.0	14 12.5	43 38.4	1 0.9	37 33.0	1 0.9	16 14.3
小学4年生	102 100.0	19 18.6	35 34.3	0 0.0	32 31.4	0 0.0	16 15.7
小学5年生	109 100.0	12 11.0	60 55.0	0 0.0	20 18.3	0 0.0	17 15.6
小学6年生	94 100.0	12 12.8	39 41.5	0 0.0	30 31.9	0 0.0	13 13.8

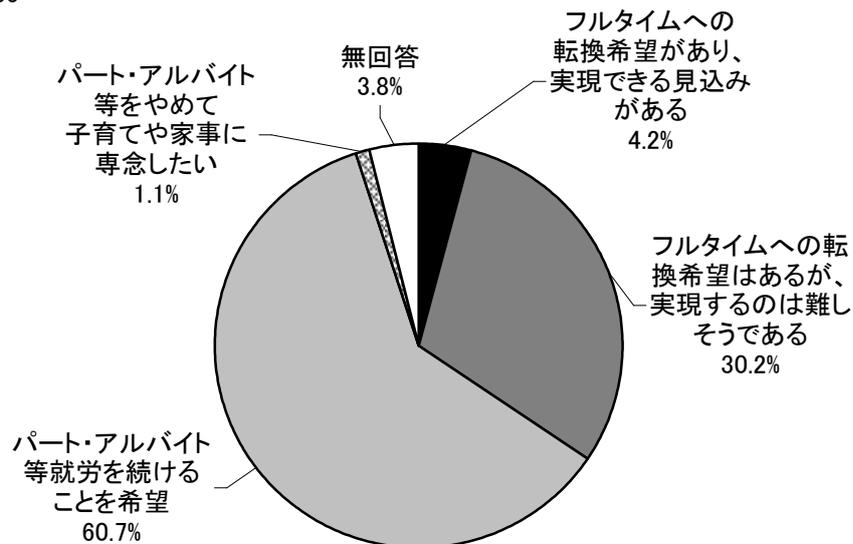
【問 11 の①または②で、「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労）に○をした方】

問 11③ フルタイムへの転換希望はありますか。（単数回答）

③-1 母親

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等就労を続けることを希望」が 60.7%で最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現するのは難しそうである」が 30.2%となっており、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と合わせた『フルタイムへの転換希望がある』の割合は3割半ばとなっている。

(SA) n=265



③-2 父親

父親のフルタイムへの転換希望については、パート・アルバイト等で就労している人は7人で、そのうち3人が「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」および「フルタイムへの転換希望はあるが、実現するのは難しそうである」、1人が「パート・アルバイト等就労を続けることを希望」となっている。（グラフ省略）

【問 11 の①または②で、「5」～「7」（就労していない）に○をした方】

問 11④ 就労希望の有無（単数回答および数量回答）

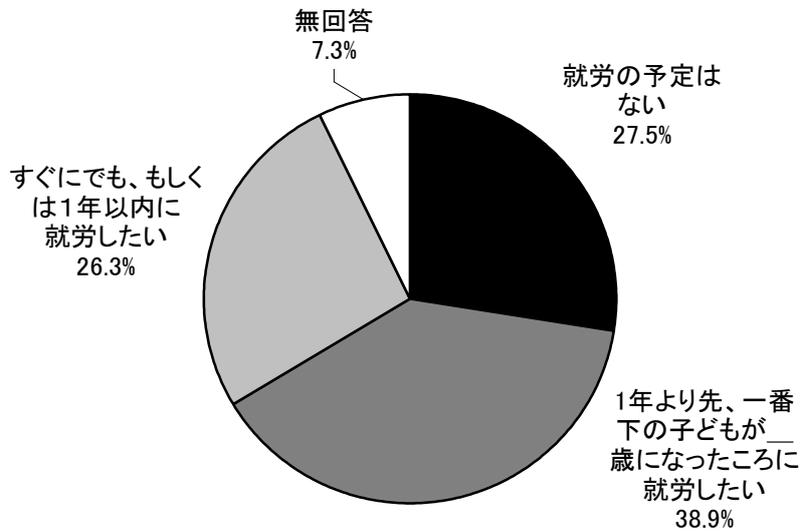
④-1 母親

現在未就労の母親の今後の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが__歳になったところに就労したい」が38.9%で最も多く、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を合わせた『就労したい』の割合は6割半ばとなっている。

就労を希望する子どもの年齢については、「7歳」が25.5%で最も多く、次いで「10歳」が19.6%、「12歳以上」が16.7%で、平均は8.18歳となっている。

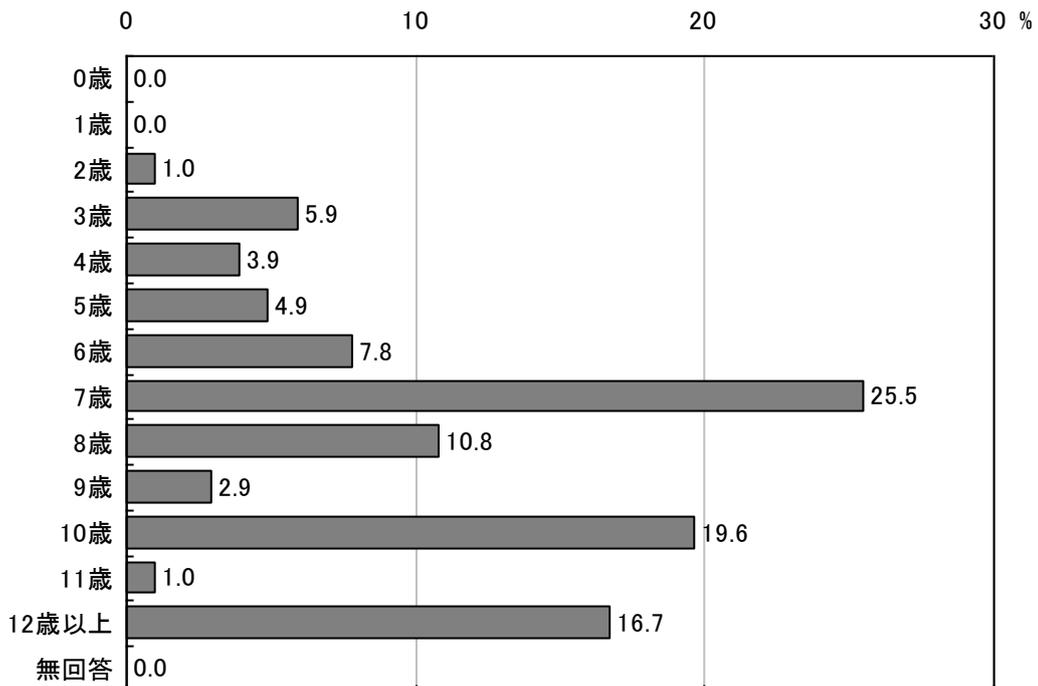
【就労希望の有無】

(SA) n=262



【就労希望する子どもの年齢】

(数量) n=102

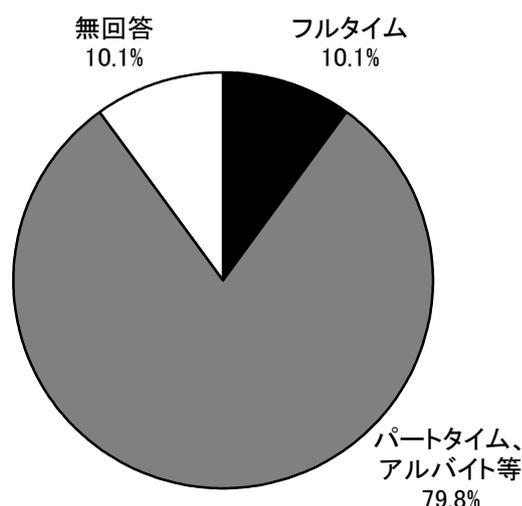


「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人の希望する就労形態については、「パートタイム、アルバイト等」が79.8%、「フルタイム」が10.1%となっている。

また、週あたりの希望就労日数および1日あたりの希望就労時間をみると、就労日数は「3日」が54.5%、就労時間は「5時間」が40.0%で最も多くなっている。

【希望する就労形態】

(SA) n=69



【希望する就労形態で、「パートタイム、アルバイト等」に○をした方】

【週あたりの希望就労日数】

日数	n=55	
	n	%
1日	0	0.0
2日	3	5.5
3日	30	54.5
4日	16	29.1
5日	3	5.5
6日	1	1.8
7日	0	0.0
無回答	2	3.6

【1日あたりの希望就労時間】

時間	n=55	
	n	%
1時間	0	0.0
2時間	0	0.0
3時間	3	5.5
4時間	14	25.5
5時間	22	40.0
6時間	13	23.6
7時間	3	5.5
8時間以上	0	0.0
無回答	0	0.0

④-2 父親

現在未就労の父親は5人で、今後の就労希望については、「就労の予定はない」が1人、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1人、3人が無回答となっている。

また、希望する就労形態についての有効回答はみられなかった。(グラフ省略)

【問 11④-1または④-2で、「1」(就労の予定はない)に○をした方】

問 11⑤ 就労の予定がない理由 (単数回答)

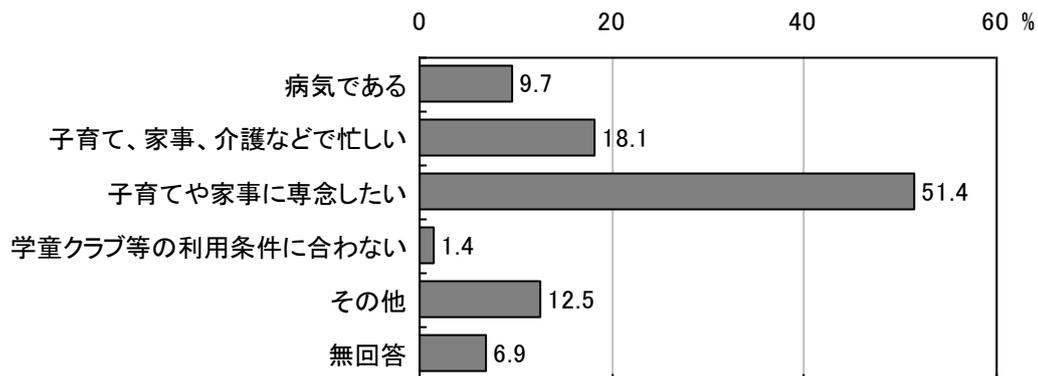
⑤-1 母親・⑤-2 父親

母親の就労の予定がない理由については、「子育てや家事に専念したい」が51.4%で最も多く、次いで「子育て、家事、介護などで忙しい」が18.1%となっている。

なお、就労の予定がないとした父親は1人で、「病気である」となっている。(グラフ省略)

【母親】

(SA) n=72



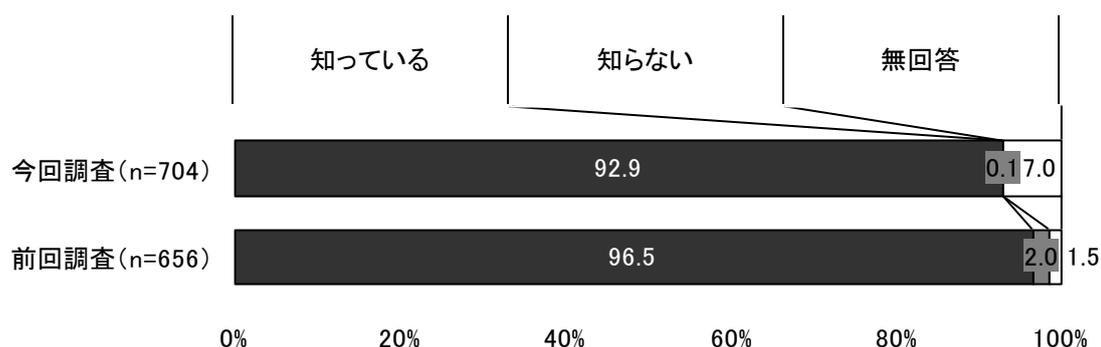
3. 放課後の居場所について

問 12 学童クラブの認知（単数回答）

西東京市の学童クラブの認知については、「知っている」が92.9%、「知らない」が0.1%となっている。

「お子さん」の学年別の学童クラブの認知をみると、小学1年生でやや「知っている」が低くなっているものの、おおむね9割以上で認知度は高くなっている。

前回調査（1）と比較すると、「知っている」が3.6ポイント減少している。



■ 「お子さん」の学年別の学童クラブの認知

上段:回答者数 下段:%	合計	知っている	知らない	無回答
小学1年生	115 100.0	103 89.6	0 0.0	12 10.4
小学2年生	110 100.0	104 94.5	0 0.0	6 5.5
小学3年生	116 100.0	109 94.0	0 0.0	7 6.0
小学4年生	108 100.0	104 96.3	0 0.0	4 3.7
小学5年生	112 100.0	104 92.9	0 0.0	8 7.1
小学6年生	102 100.0	95 93.1	0 0.0	7 6.9

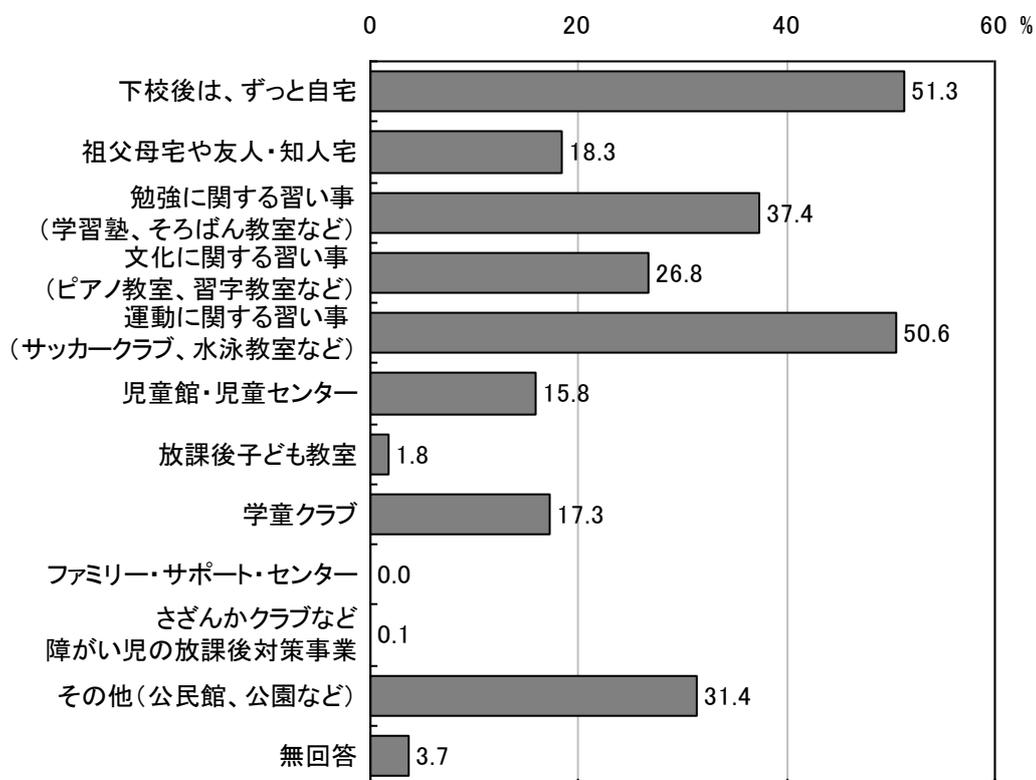
問 13 放課後（平日の小学校終了後）の時間の過ごし方（複数回答および数量回答）

放課後に過ごしている場所については、「下校後は、ずっと自宅」が51.3%で最も多く、次いで「運動に関する習い事（サッカークラブ、水泳教室など）」が50.6%、「勉強に関する習い事（学習塾、そろばん教室など）」が37.4%となっている。

場所別の週あたりの平均日数をみると、最も回答の多かった「下校後は、ずっと自宅」は「2.49日」、2番目に回答が多かった「運動に関する習い事（サッカークラブ、水泳教室など）」は「1.88日」となっている。

また、場所別の退去時間については、「放課後子ども教室」は「16時前」、「祖父母宅や友人・知人宅」、「児童館・児童センター」、「学童クラブ」、「その他」は「17時台」、「習い事」は「18時台」が多くなっている。

(MA) n=704



【場所別の週あたりの平均日数】

放課後過ごしている場所	n	平均日数
下校後は、ずっと自宅	361	2.49日
祖父母宅や友人・知人宅	129	1.68日
勉強に関する習い事(学習塾、そろばん教室など)	263	2.15日
文化に関する習い事(ピアノ教室、習字教室など)	189	1.27日
運動に関する習い事(サッカークラブ、水泳教室など)	356	1.88日
児童館・児童センター	111	1.89日
放課後子ども教室	13	1.00日
学童クラブ	122	4.10日
ファミリー・サポート・センター	0	-
さざんかクラブなど障がい児の放課後対策事業	1	1.00日
その他(公民館、公園など)	221	2.05日

【場所別の退去時間】

時間	祖父母・友人宅 n=129		習い事(勉強) n=263		習い事(文化) n=189		習い事(運動) n=356		児童館・児童センター n=111	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
16時前	1	0.8	0	0.0	3	1.6	1	0.3	1	0.9
16時台	6	4.7	13	4.9	20	10.6	4	1.1	8	7.2
17時台	85	65.9	48	18.3	64	33.9	60	16.9	74	66.7
18時台	25	19.4	85	32.3	71	37.6	160	44.9	26	23.4
19時台	1	0.8	57	21.7	19	10.1	87	24.4	0	0.0
20時以降	3	2.3	49	18.6	3	1.6	31	8.7	0	0.0
無回答	8	6.2	11	4.2	9	4.8	13	3.7	2	1.8

時間	放課後子ども教室 n=13		学童クラブ n=122		ファミリー・サポート・センター n=0		障がい児の放課後対策事業 n=1		その他 n=221	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
16時前	6	46.2	0	0.0	-	-	0	0.0	0	0.0
16時台	5	38.5	12	9.8	-	-	0	0.0	8	3.6
17時台	1	7.7	63	51.6	-	-	0	0.0	154	69.7
18時台	0	0.0	44	36.1	-	-	1	100.0	50	22.6
19時台	0	0.0	1	0.8	-	-	0	0.0	1	0.5
20時以降	0	0.0	0	0.0	-	-	0	0.0	0	0.0
無回答	1	7.7	2	1.6	-	-	0	0.0	8	3.6

■「お子さん」の学年別の放課後の過ごし方

「お子さん」の学年別の放課後の過ごし方をみると、「学童クラブ」が小学4年生までの低学年で、学年が小さいほど割合が高くなっている。また、「児童館・児童センター」は、小学2～4年生と6年生で約2割となっている。

上段: 回答者数 下段:%	合計	下校後 は、ず っと自 宅	祖父母 宅や友 人・知 人宅	勉強に 関する 習い事	文化に 関する 習い事	運動に 関する 習い事	児童 館・児 童セン ター	放課後 子ども 教室	学童ク ラブ	ファミ リ・サポ ート・セ ンター	障がい 児の放 課後対 策事業	その 他	無回 答
小学1年生	115	45	19	21	24	47	16	6	42	0	0	36	4
	100.0	39.1	16.5	18.3	20.9	40.9	13.9	5.2	36.5	0.0	0.0	31.3	3.5
小学2年生	110	55	20	31	36	61	19	2	32	0	0	26	3
	100.0	50.0	18.2	28.2	32.7	55.5	17.3	1.8	29.1	0.0	0.0	23.6	2.7
小学3年生	116	64	19	45	39	68	21	3	20	0	0	39	3
	100.0	55.2	16.4	38.8	33.6	58.6	18.1	2.6	17.2	0.0	0.0	33.6	2.6
小学4年生	108	58	25	47	29	55	21	0	16	0	0	33	1
	100.0	53.7	23.1	43.5	26.9	50.9	19.4	0.0	14.8	0.0	0.0	30.6	0.9
小学5年生	112	59	25	56	32	55	11	2	2	0	0	33	6
	100.0	52.7	22.3	50.0	28.6	49.1	9.8	1.8	1.8	0.0	0.0	29.5	5.4
小学6年生	102	64	17	45	16	49	19	0	0	0	1	38	6
	100.0	62.7	16.7	44.1	15.7	48.0	18.6	0.0	0.0	0.0	1.0	37.3	5.9

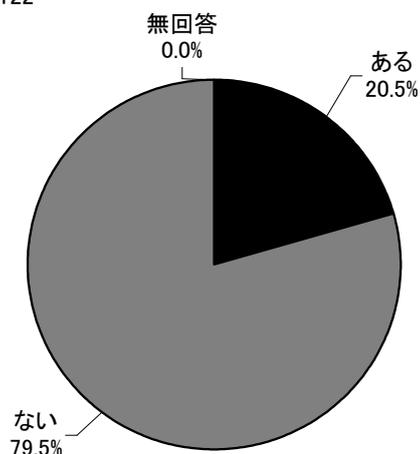
【問 13 で「8 学童クラブ」に○をした方】

問 13① 学童クラブの土曜日の利用状況（単数回答および数量回答）

土曜日の学童クラブの利用状況については、「ある」が20.5%で、利用日数は月に「3日」が32.0%で最も多くなっている。

【利用の有無】

(SA) n=122



【利用日数】

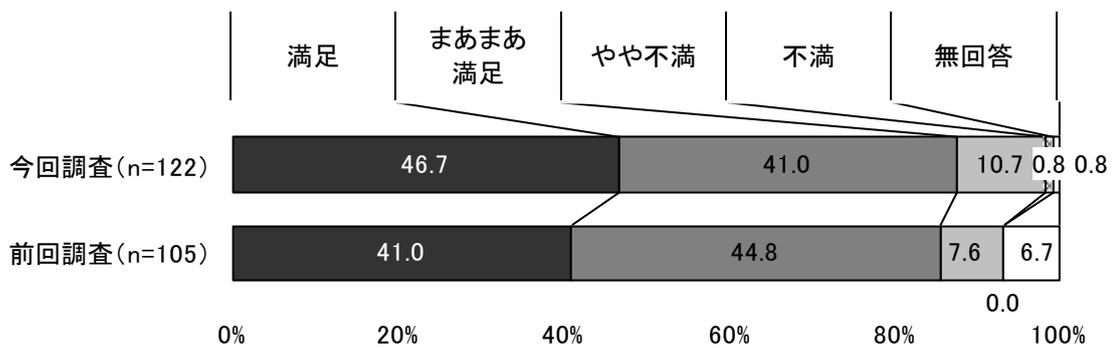
日数	n=25	
	n	%
1日	7	28.0
2日	3	12.0
3日	8	32.0
4日	6	24.0
5日	1	4.0
無回答	0	0.0

問 13② 学童クラブの利用の満足度（単数回答）

学童クラブの利用の満足度については、「満足」が46.7%で最も多く、次いで「まあまあ満足」が41.0%となっている。

「お子さん」の学年別の満足度をみると、学年が小さいほど満足度が高い。

前回調査（1）と比較すると、「満足」が5.7ポイント増加しているものの、「やや不満」も3.1ポイント増加している。



■ 「お子さん」の学年別の学童クラブの利用の満足度（小学4～6年生は省略）

上段:回答者数 下段:%	合計	満足	まあまあ満足	やや不満	不満	無回答
小学1年生	42 100.0	22 52.4	13 31.0	6 14.3	1 2.4	0 0.0
小学2年生	32 100.0	12 37.5	14 43.8	6 18.8	0 0.0	0 0.0
小学3年生	20 100.0	6 30.0	13 65.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0

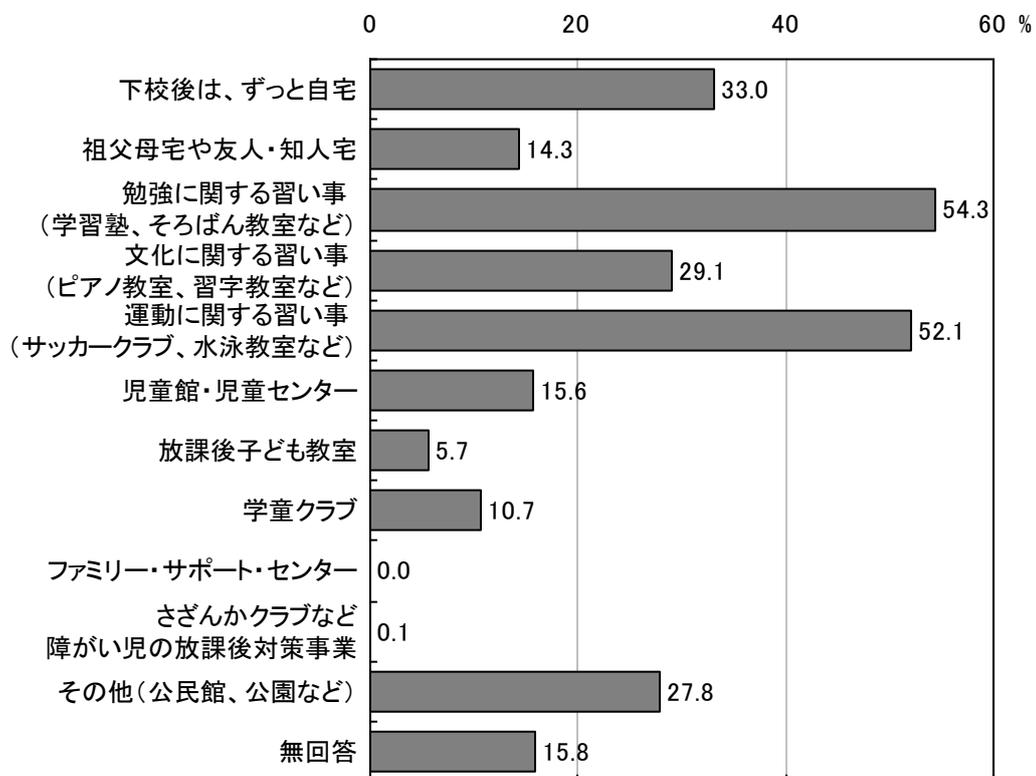
問 14 「お子さん」が小学校4年生・5年生・6年生（高学年）の間の希望の放課後の過ごし方（複数回答および数量回答）

小学4年生以降の放課後の過ごし方については、「勉強に関する習い事（学習塾、そろばん教室など）」が54.3%で最も多く、次いで「運動に関する習い事（サッカークラブ、水泳教室など）」が52.1%となっている。

場所別の週あたりの平均希望日数をみると、最も回答が多かった「勉強に関する習い事（学習塾、そろばん教室など）」は「2.02日」、2番目に回答が多かった「運動に関する習い事（サッカークラブ、水泳教室など）」は「1.66日」となっている。

また、場所別の希望退去時間については、「祖父母宅や友人・知人宅」、「児童館・児童センター」、「放課後子ども教室」、「その他」は「17時台」、「習い事」と「学童クラブ」、「障がい児の放課後対策事業」は「18時台」が多くなっている。

(MA) n=704



【場所別の週あたりの平均希望日数】

放課後過ごさせたい場所	n	平均日数
下校後は、ずっと自宅	232	2.31日
祖父母宅や友人・知人宅	101	1.82日
勉強に関する習い事(学習塾、そろばん教室など)	382	2.02日
文化に関する習い事(ピアノ教室、習字教室など)	205	1.16日
運動に関する習い事(サッカークラブ、水泳教室など)	367	1.66日
児童館・児童センター	110	2.02日
放課後子ども教室	40	1.56日
学童クラブ	75	3.56日
ファミリー・サポート・センター	0	-
さざんかクラブなど障がい児の放課後対策事業	1	1.00日
その他(公民館、公園など)	196	2.05日

【場所別の希望退去時間】

時間	祖父母・友人宅 n=101		習い事(勉強) n=382		習い事(文化) n=205		習い事(運動) n=367		児童館・児童センター n=110	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
16時前	2	2.0	0	0.0	1	0.5	1	0.3	0	0.0
16時台	3	3.0	4	1.0	11	5.4	1	0.3	2	1.8
17時台	56	55.4	36	9.4	45	22.0	44	12.0	66	60.0
18時台	22	21.8	156	40.8	103	50.2	179	48.8	32	29.1
19時台	4	4.0	95	24.9	27	13.2	91	24.8	1	0.9
20時以降	3	3.0	59	15.4	1	0.5	23	6.3	0	0.0
無回答	11	10.9	32	8.4	17	8.3	28	7.6	9	8.2

時間	放課後子ども教室 n=40		学童クラブ n=75		ファミリー・サポート・センター n=0		障がい児の放課後対策事業 n=1		その他 n=196	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
16時前	3	7.5	0	0.0	-	-	0	0.0	0	0.0
16時台	6	15.0	2	2.7	-	-	0	0.0	2	1.0
17時台	19	47.5	23	30.7	-	-	0	0.0	121	61.7
18時台	10	25.0	41	54.7	-	-	1	100.0	56	28.6
19時台	0	0.0	2	2.7	-	-	0	0.0	0	0.0
20時以降	0	0.0	0	0.0	-	-	0	0.0	0	0.0
無回答	2	5.0	7	9.3	-	-	0	0.0	17	8.7

■「お子さん」の学年別の希望の過ごし方

「お子さん」の学年別の放課後の希望の過ごし方をみると、小学1～2年生では「運動に関する習い事」が6割以上、小学3～6年生では「勉強に関する習い事」が多く、特に小学4年生では6割を超えている。

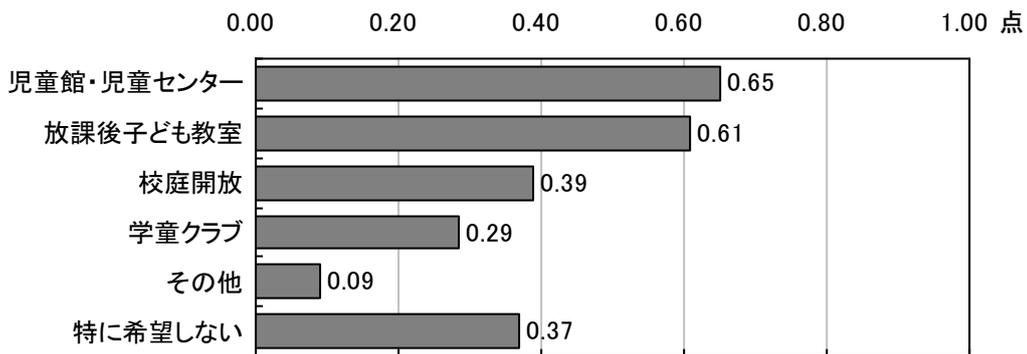
上段: 回答者数 下段:%	合計	下校後 は、ず っと自 宅	祖父母 宅や友 人・知 人宅	勉強に 関する 習い事	文化に 関する 習い事	運動に 関する 習い事	児童 館・児 童セン ター	放課後 子ども 教室	学童ク ラブ	ファミ リ・サポ ート・セ ンター	障がい 児の放 課後対 策事業	その 他	無回 答
小学1年生	115	25	14	59	40	72	20	11	25	0	0	34	10
	100.0	21.7	12.2	51.3	34.8	62.6	17.4	9.6	21.7	0.0	0.0	29.6	8.7
小学2年生	110	39	21	65	38	67	19	8	16	0	0	30	14
	100.0	35.5	19.1	59.1	34.5	60.9	17.3	7.3	14.5	0.0	0.0	27.3	12.7
小学3年生	116	41	15	69	41	68	25	8	12	0	0	36	14
	100.0	35.3	12.9	59.5	35.3	58.6	21.6	6.9	10.3	0.0	0.0	31.0	12.1
小学4年生	108	38	15	68	29	60	16	1	9	0	0	27	12
	100.0	35.2	13.9	63.0	26.9	55.6	14.8	0.9	8.3	0.0	0.0	25.0	11.1
小学5年生	112	42	17	61	27	48	7	7	5	0	0	29	23
	100.0	37.5	15.2	54.5	24.1	42.9	6.3	6.3	4.5	0.0	0.0	25.9	20.5
小学6年生	102	34	12	40	16	36	16	2	4	0	1	29	30
	100.0	33.3	11.8	39.2	15.7	35.3	15.7	2.0	3.9	0.0	1.0	28.4	29.4

【「お子さん」が、小学校5、6年生の方】

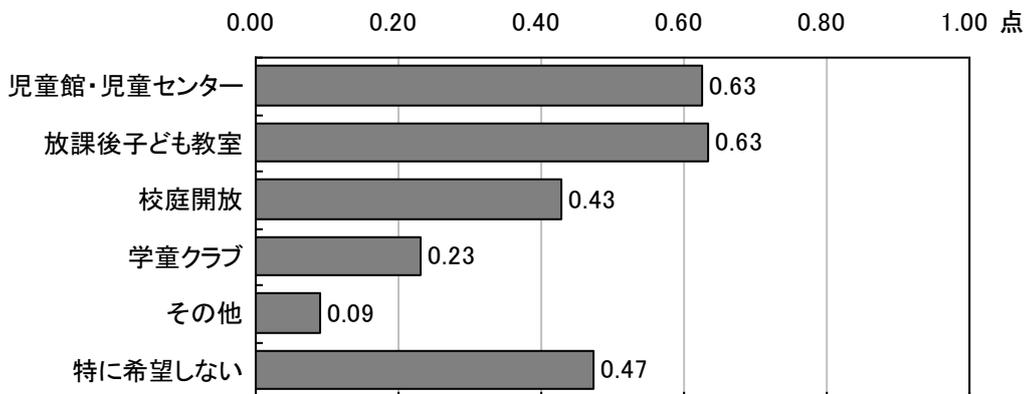
問 15 市が放課後に行っている事業を利用する場合の利用意向（1位、2位にそれぞれで単数回答）

市が放課後に行っている事業を利用する場合の利用意向について、1位と2位にそれぞれ点数をつけ、回答者数全体で割り出した結果は以下のとおり。学年によっておおむね傾向は変わらないものの、小学5年生よりも6年生で事業の利用意向が高く、「児童館・児童センター」と「放課後子ども教室」が多くなっている。

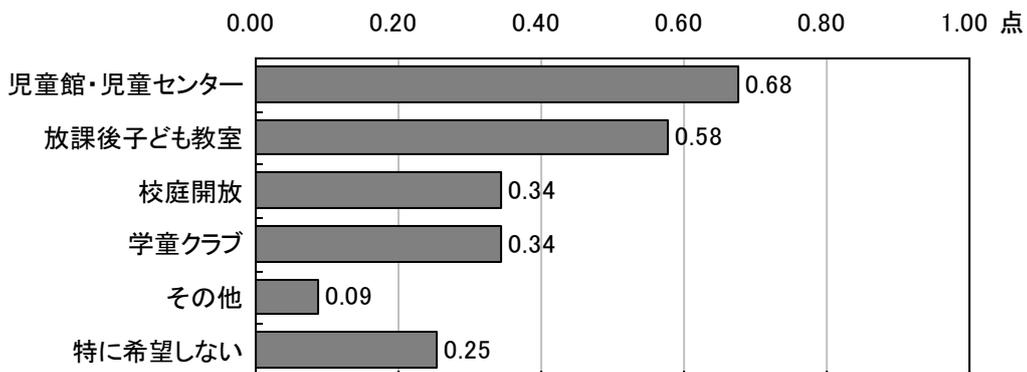
【全体】



【小学5年生】



【小学6年生】



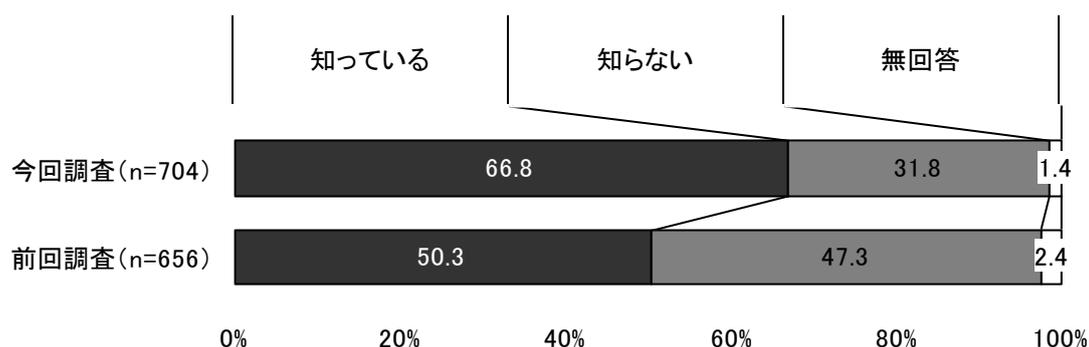
4. 病気の際の対応

問 16 病児・病後児保育室の認知（単数回答）

病児・病後児保育室の認知については、「知っている」が66.8%、「知らない」が31.8%となっている。

「お子さん」の学年別の病児・病後児保育室の認知をみると、小学3年生以降は「知らない」が3割を超えている。

前回調査（1）と比較すると、「知っている」が16.5ポイント増加している。



■ 「お子さん」の学年別の病児・病後児保育室の認知

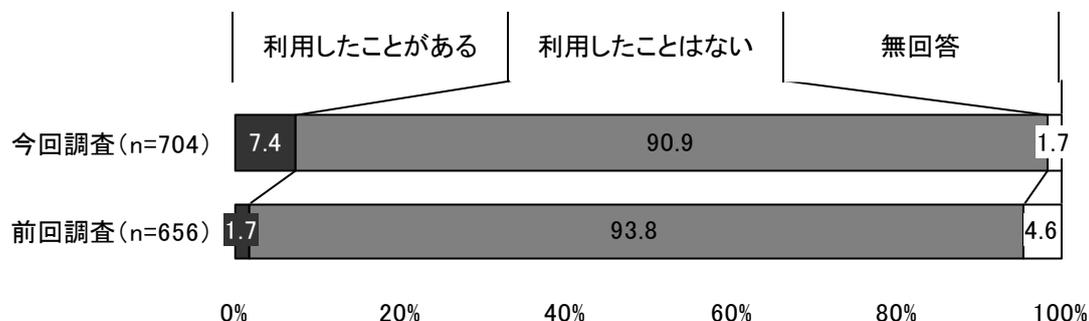
上段:回答者数 下段:%	合計	知っている	知らない	無回答
小学1年生	115 100.0	78 67.8	34 29.6	3 2.6
小学2年生	110 100.0	77 70.0	31 28.2	2 1.8
小学3年生	116 100.0	74 63.8	40 34.5	2 1.7
小学4年生	108 100.0	72 66.7	35 32.4	1 0.9
小学5年生	112 100.0	74 66.1	38 33.9	0 0.0
小学6年生	102 100.0	69 67.6	32 31.4	1 1.0

問 17 病児・病後児保育室の利用経験の有無（単数回答）

病児・病後児保育室の利用経験の有無については、「利用したことがある」が7.4%となっている。

「お子さん」の学年別の病児・病後児保育室の利用経験の有無をみると、小学1年生と小学3年生で利用経験者が1割程度みられる。

前回調査（1）と比較すると、「利用したことがある」が5.7ポイント増加している。



■ 「お子さん」の学年別の病児・病後児保育室の利用経験の有無

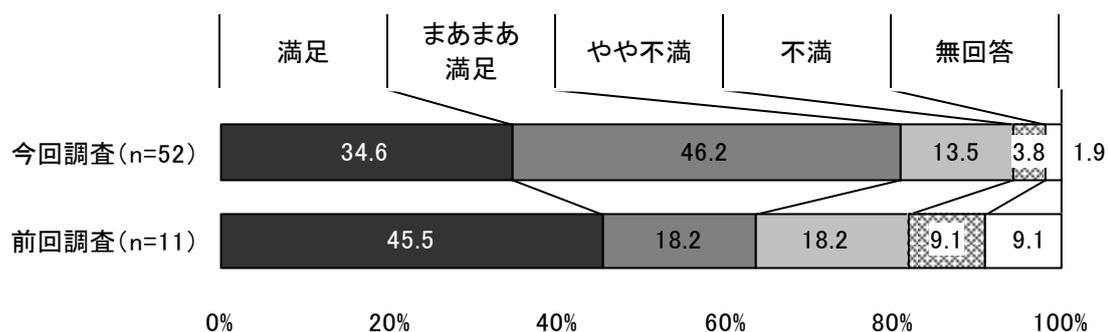
上段:回答者数 下段:%	合計	利用したことがある	利用したことはない	無回答
小学1年生	115 100.0	12 10.4	100 87.0	3 2.6
小学2年生	110 100.0	8 7.3	100 90.9	2 1.8
小学3年生	116 100.0	12 10.3	102 87.9	2 1.7
小学4年生	108 100.0	7 6.5	99 91.7	2 1.9
小学5年生	112 100.0	6 5.4	104 92.9	2 1.8
小学6年生	102 100.0	2 2.0	100 98.0	0 0.0

【問 17 で「1」に○をした方】

問 17① 病児・病後児保育室の利用の満足度（単数回答）

病児・病後児保育室の利用の満足度については、「まあまあ満足」が46.2%で最も多く、次いで「満足」が34.6%となっている。

前回調査（1）と比較すると、「満足」が10.9ポイント減少しているものの、「まあまあ満足」が28ポイント増加している。



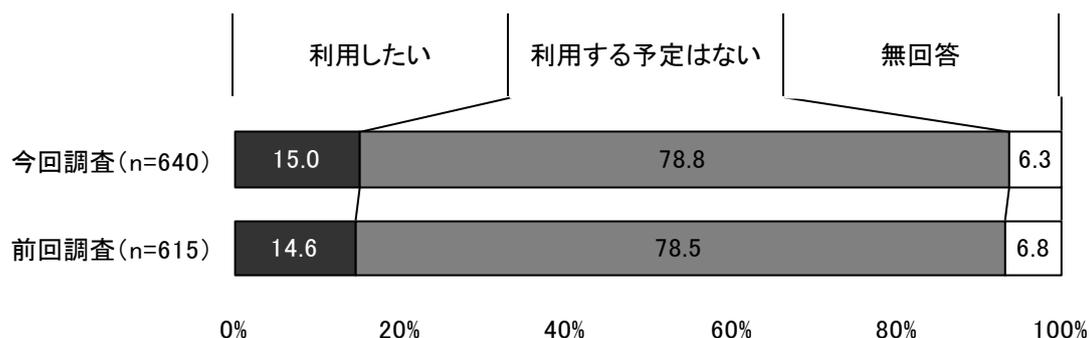
【問17で「2」に○をした方】

問17② 今後の利用意向（単数回答）

病児・病後児保育室の今後の利用意向は、「利用する予定はない」が78.8%、「利用したい」が15.0%となっている。

「お子さん」の学年別の病児・病後児保育室の今後の利用意向をみると、小学校低学年になるほど「利用したい」の割合が高く、小学1年生で2割半ばとなっている。

前回調査（1）と比較すると、おおむね傾向は同じであることがわかる。



■ 「お子さん」の学年別の病児・病後児保育室の今後の利用意向

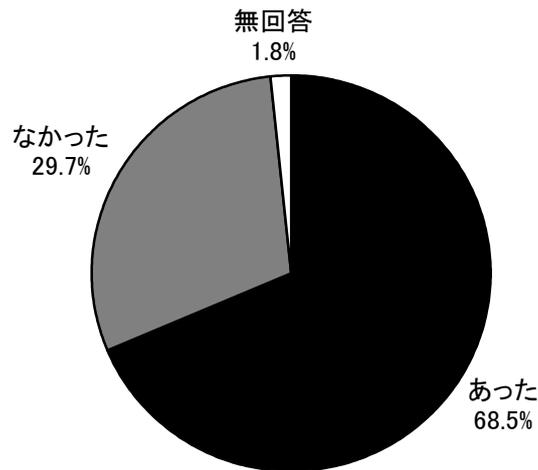
上段:回答者数 下段:%	合計	利用したい	利用する予定はない	無回答
小学1年生	100 100.0	24 24.0	70 70.0	6 6.0
小学2年生	100 100.0	20 20.0	76 76.0	4 4.0
小学3年生	102 100.0	18 17.6	77 75.5	7 6.9
小学4年生	99 100.0	10 10.1	84 84.8	5 5.1
小学5年生	104 100.0	9 8.7	89 85.6	6 5.8
小学6年生	100 100.0	10 10.0	81 81.0	9 9.0

問 18 この1年間で「お子さん」が病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無（単数回答）

この1年間で「お子さん」が病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無については、「あった」が68.5%、「なかった」が29.7%となっている。

「お子さん」の学年別の病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無をみると、「あった」が小学2～3年生で7割を超えているものの、3年生以降は徐々に割合が少なくなっている。

(SA) n=704



■ 「お子さん」の学年別の病気やケガで学校を休まなければならなかった経験の有無

上段:回答者数 下段:%	合計	あった	なかった	無回答
小学1年生	115 100.0	77 67.0	35 30.4	3 2.6
小学2年生	110 100.0	79 71.8	29 26.4	2 1.8
小学3年生	116 100.0	88 75.9	25 21.6	3 2.6
小学4年生	108 100.0	73 67.6	31 28.7	4 3.7
小学5年生	112 100.0	73 65.2	39 34.8	0 0.0
小学6年生	102 100.0	64 62.7	38 37.3	0 0.0

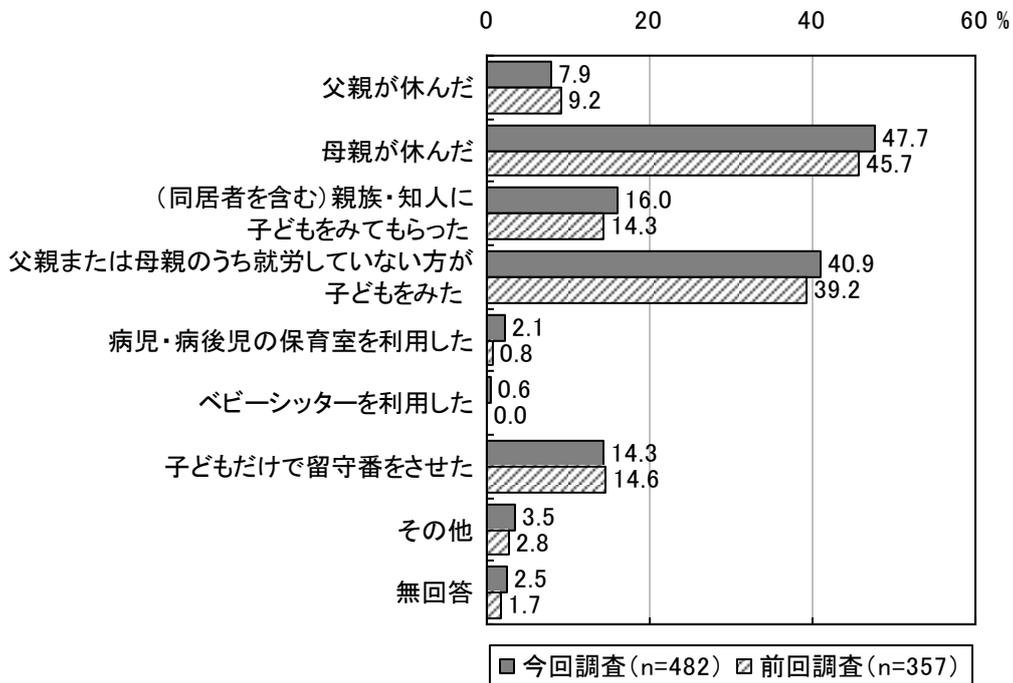
【問 18 で「1」に○をした方】

問 18① 「お子さん」が病気やケガで学校を休まなければならなかった場合のこの1年間に
行った対処方法（複数回答および数量回答）

病気やケガで学校を休まなければならなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が
47.7%で最も多く、次いで「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が
40.9%となっている。

また、対処方法別の1年間の平均日数については、対処方法で最も回答が多かった「母親
が休んだ」は「平均 2.86 日」、2番目に回答が多かった「父親または母親のうち就労してい
ない方が子どもをみた」は「平均 3.68 日」となっている。

前回調査（1）と比較すると、おおむね傾向は同じであることがわかる。



【対処方法別の1年間の平均日数】

対処方法	n	平均日数
父親が休んだ	38	1.92 日
母親が休んだ	230	2.86 日
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	77	3.28 日
父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	197	3.68 日
病児・病後児の保育を利用した	10	3.80 日
ベビーシッターを利用した	3	7.00 日
子どもだけで留守番をさせた	69	2.11 日
その他	17	3.50 日

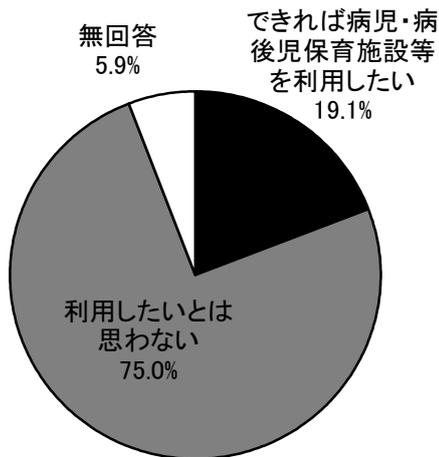
【問 18 の①で「ア」または「イ」（父親または母親が休んだ）に○をした方】

問 18② 父親または母親が休んだ際の病児・病後児のための保育施設等の利用意向（単数回答および数量回答）

父親または母親が休んだ際の病児・病後児のための保育施設等の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 19.1%となっている。

また、病児・病後児保育施設等の利用希望日数は、「2日」が 28.9%で最も多くなっている。

(SA) n=236



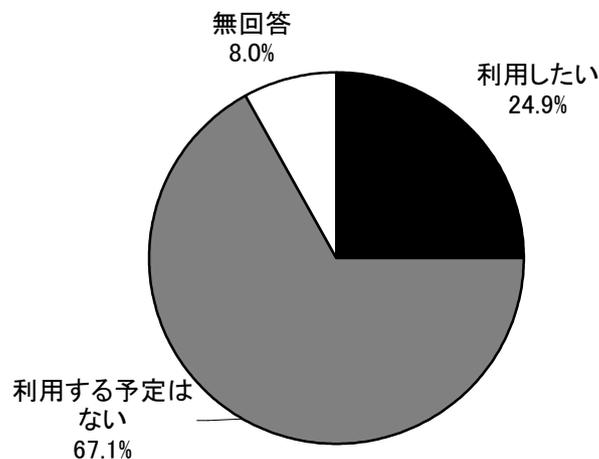
【利用希望日数】

日数	n=45	
	n	%
1日	10	22.2
2日	13	28.9
3日	9	20.0
4日	2	4.4
5日	3	6.7
6日	1	2.2
7日	1	2.2
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	0	0.0
無回答	6	13.3
平均	2.54日	

問 19 病気やケガのときに、自宅で保育が受けられる訪問型の有料サービスが利用できる場合の利用意向（単数回答）

病気やケガのときに、自宅で保育が受けられる訪問型の有料サービスが利用できる場合の利用意向については、「利用したい」が 24.9%、「利用する予定はない」は 67.1%となっている。

(SA) n=704

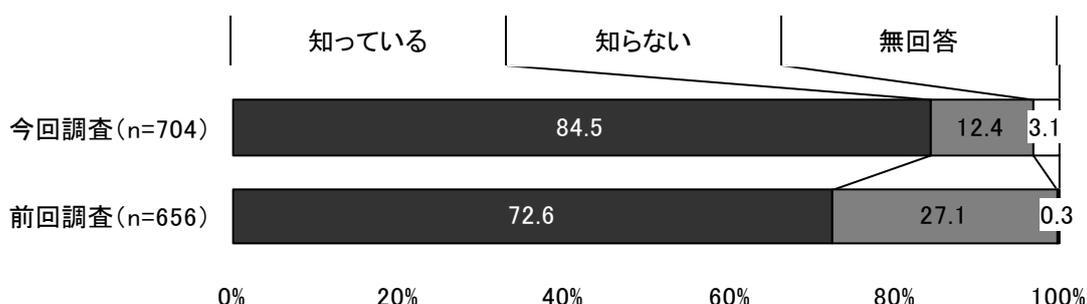


5. 不定期の教育・保育事業について

問 20 ファミリー・サポート・センターの認知（単数回答）

ファミリー・サポート・センターの認知については、「知っている」が84.5%、「知らない」が12.4%となっている。

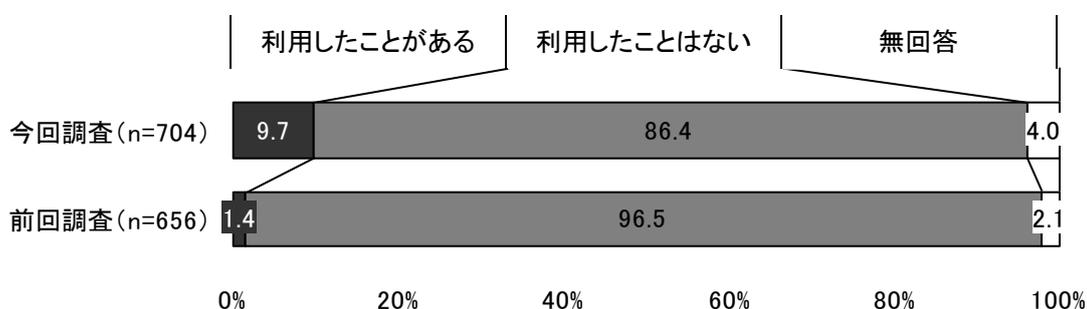
前回調査（1）と比較すると、「知っている」が11.9ポイント増加している。



問 21 ファミリー・サポート・センターの利用経験の有無（単数回答）

ファミリー・サポート・センターの利用経験の有無については、「利用したことがある」が9.7%、「利用したことはない」が86.4%となっている。

前回調査（1）と比較すると、「利用したことがある」が8.3ポイント増加している。

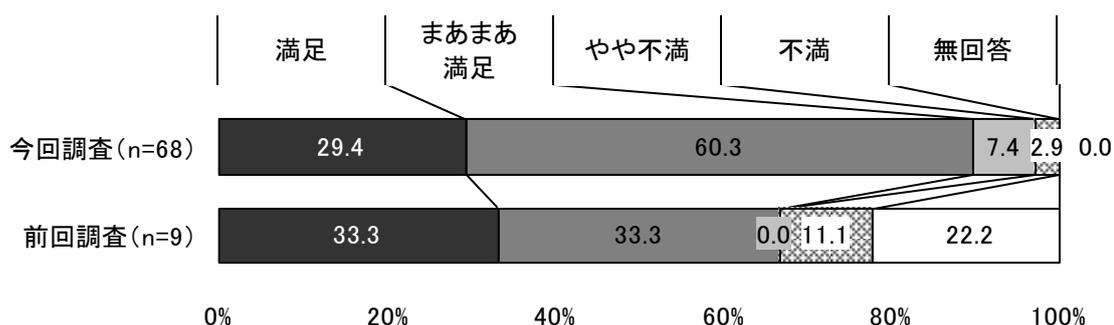


【問 21 で「1」に○をした方】

問 21① ファミリー・サポート・センターの利用の満足度（単数回答）

ファミリー・サポート・センターの利用の満足度については、「まあまあ満足」が60.3%で最も多く、次いで「満足」が29.4%となっている。

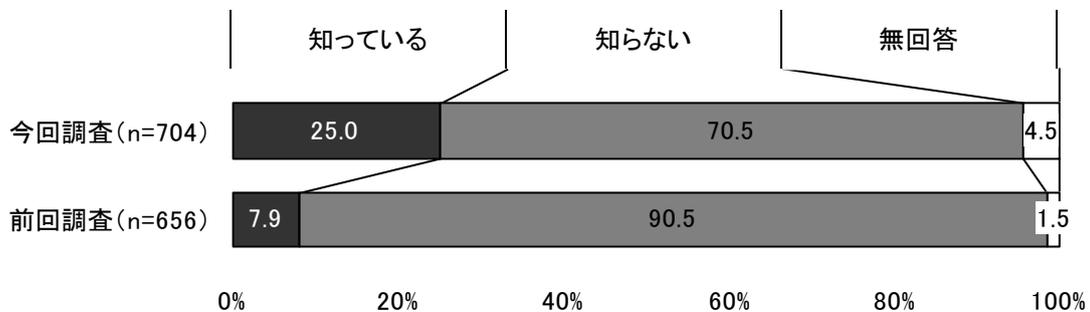
前回調査（1）と比較すると、「まあまあ満足」が27ポイント増加している。



問 22 宿泊を伴う子どもの一時預かり（ショートステイ事業）の認知（単数回答）

宿泊を伴う子どもの一時預かり（ショートステイ事業）の認知については、「知っている」が25.0%、「知らない」が70.5%となっている。

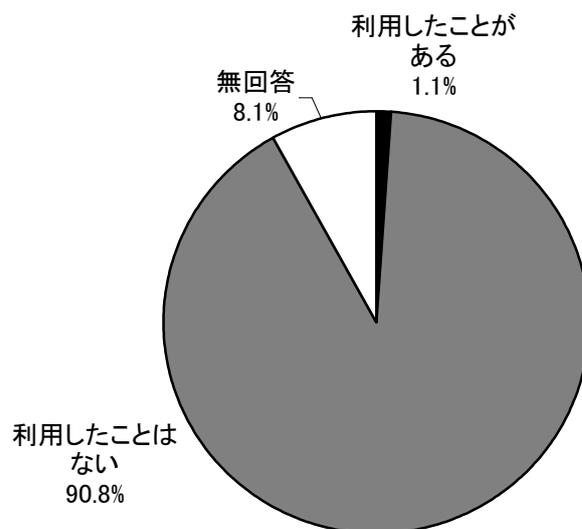
前回調査（1）と比較すると、「知っている」が17.1ポイント増加している。



問 23 宿泊を伴う子どもの一時預かり（ショートステイ事業）の利用経験の有無（単数回答）

宿泊を伴う子どもの一時預かりサービス（ショートステイ事業）の利用経験の有無については、「利用したことはない」が90.8%、「利用したことがある」が1.1%となっている。

(SA) n=704



【問 23 で「1」に○をした方】

問 23① 宿泊を伴う子どもの一時預かり（ショートステイ事業）の利用の満足度（単数回答）

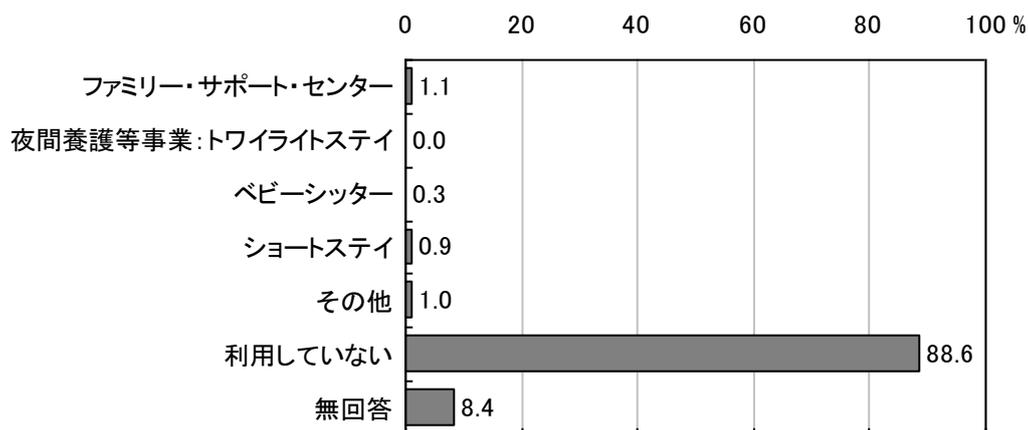
子どもの一時預かりサービス（ショートステイ事業）の利用の満足度については、宿泊を伴う子どもの一時預かり（ショートステイ事業）を利用したことがある人は8人で、4人が「満足」、3人が「まあまあ満足」、1人が「やや不満」と回答している。（グラフ省略）

問 24 私用、親の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業の利用状況（複数回答および数量回答）

私用、親の通院、就労等の目的で不定期に利用している事業の利用状況については、「利用していない」が88.6%で大半を占めている。

また、利用している事業別の1年間の平均利用日数をみると、最も回答の多かった「ファミリー・サポート・センター」の平均利用日数は「4.50日」となっている。

(MA) n=704



【利用している事業別の1年間の平均利用日数】

不定期に利用している事業	n	平均日数
ファミリー・サポート・センター	8	4.50日
夜間養護等事業:トワイライトステイ	0	-
ベビーシッター	2	16.00日
ショートステイ	6	12.00日
その他	7	13.43日

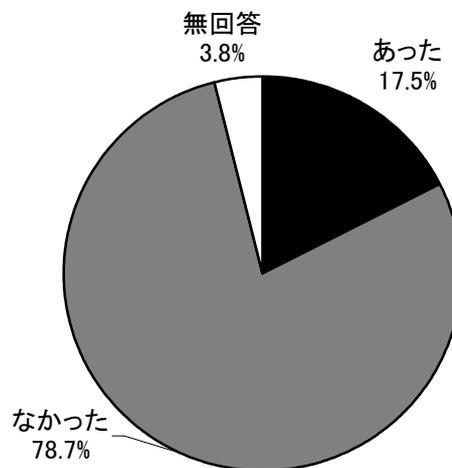
問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、「お子さん」を泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無およびその対処方法（単数回答、複数回答および数量回答）

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、「お子さん」を泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無については、「あった」が17.5%となっている。

「お子さん」の学年別の泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無をみると、「あった」が小学1年生、3年生、6年生で約2割となっている。

その場合の対処方法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が78.0%で最も多く、その1年間の平均泊数は「2.97泊」となっている。

(SA) n=704

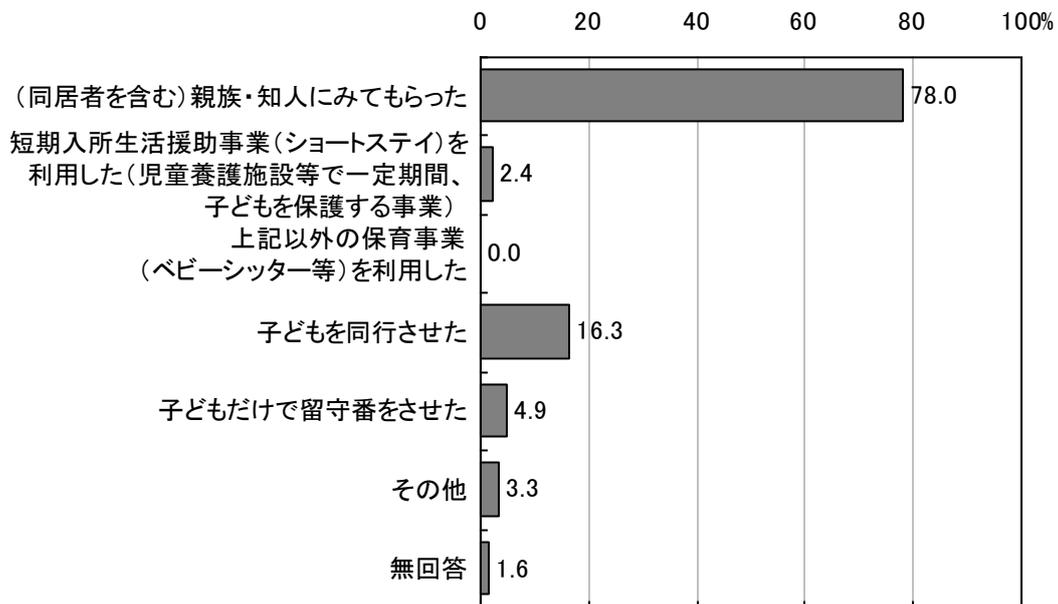


■ 「お子さん」の学年別の泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無

上段:回答者数 下段:%	合計	あった	なかった	無回答
小学1年生	115 100.0	24 20.9	88 76.5	3 2.6
小学2年生	110 100.0	17 15.5	91 82.7	2 1.8
小学3年生	116 100.0	22 19.0	89 76.7	5 4.3
小学4年生	108 100.0	11 10.2	92 85.2	5 4.6
小学5年生	112 100.0	18 16.1	90 80.4	4 3.6
小学6年生	102 100.0	21 20.6	77 75.5	4 3.9

【対処方法】

(MA) n=123



【対処方法別の1年間の平均泊数】

対処方法	n	平均泊数
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	96	2.97 泊
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	3	40.00 泊
上記以外の保育事業(ベビーシッター等)を利用した	0	-
子どもを同行させた	20	2.29 泊
子どもだけで留守番をさせた	6	4.80 泊
その他	4	16.50 泊

問 26 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での利用意向および利用希望日数(単数回答、複数回答および数量回答)

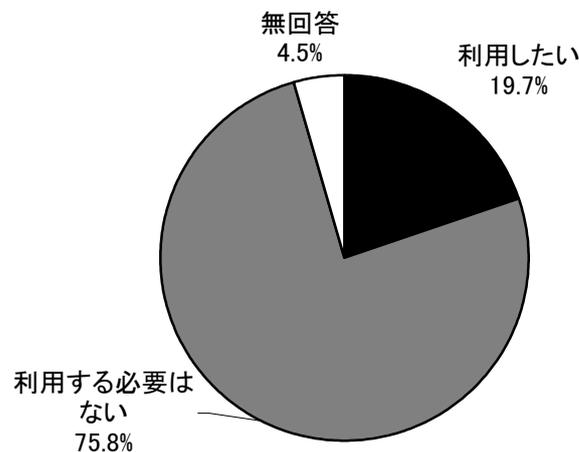
私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用意向については、「利用したい」が19.7%、「利用する必要はない」が75.8%となっている。

「お子さん」の学年別の利用意向をみると、「利用したい」が小学3年生までの低学年で2割台となっており、高学年よりも多くなっている。

事業を利用する目的をみると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が69.1%で最も多く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が47.5%となっている。

また、目的別の1年間の平均利用希望日数は、全体は「14.92日」、最も回答の多かった「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」は「5.33日」となっている。

(SA) n=704

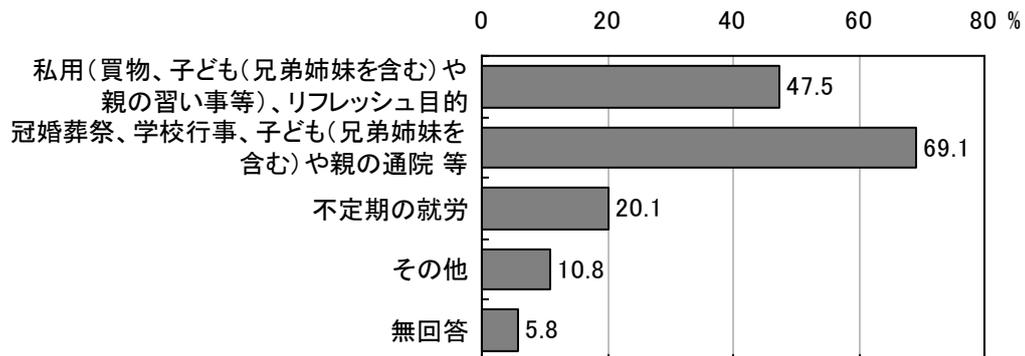


■ 「お子さん」の学年別の私用、親の通院、不定期の就労等の目的での利用意向

上段:回答者数 下段:%	合計	利用したい	利用する必要はない	無回答
小学1年生	115 100.0	32 27.8	79 68.7	4 3.5
小学2年生	110 100.0	23 20.9	84 76.4	3 2.7
小学3年生	116 100.0	26 22.4	84 72.4	6 5.2
小学4年生	108 100.0	17 15.7	84 77.8	7 6.5
小学5年生	112 100.0	12 10.7	95 84.8	5 4.5
小学6年生	102 100.0	18 17.6	81 79.4	3 2.9

【事業を利用する目的】

(MA) n=139



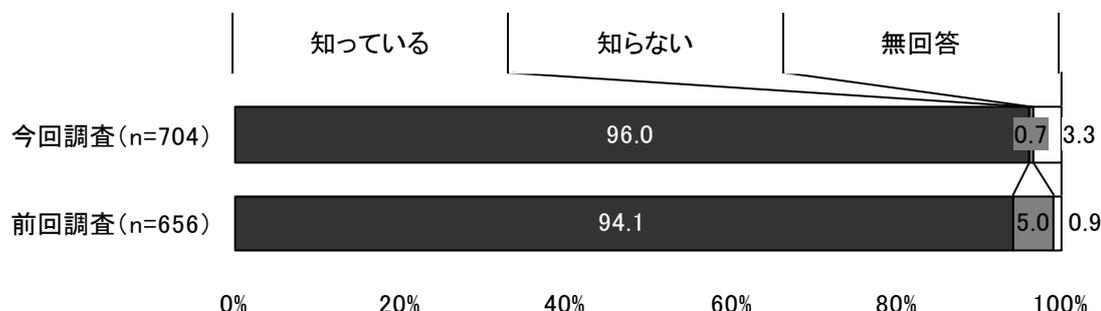
【目的別の1年間の平均利用希望日数】

不定期に利用したい事業	n	平均日数
全体	139	14.92 日
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	66	9.32 日
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	96	5.33 日
不定期の就労	28	22.36 日
その他	15	23.00 日

6. 児童館・児童センターの利用について

問 27 児童館・児童センターの認知（単数回答）

児童館・児童センターの認知については、「知っている」が96.0%、「知らない」が0.7%となっている。前回調査（1）と比較すると、「知っている」がやや増加しているものの、ほぼ同じ傾向となっている。

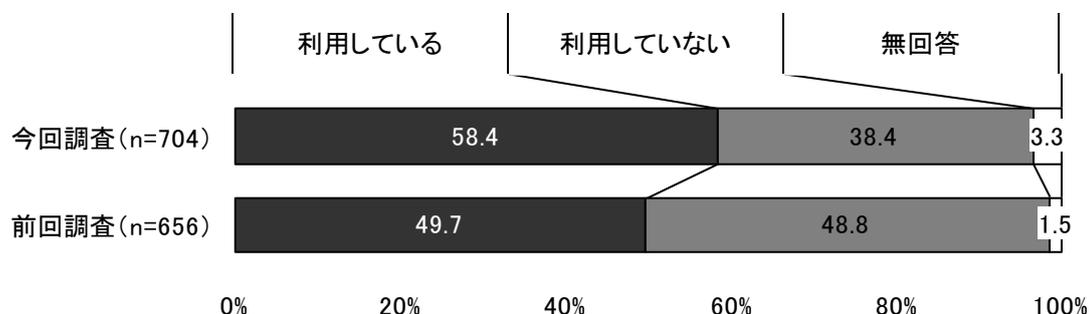


問 28 児童館・児童センターの利用状況（単数回答）

児童館・児童センターの利用状況については、「利用している」が58.4%で過半数を超えている。

「お子さん」の学年別の利用状況を見ると、小学1～2年生で「利用している」が6割以上となっている。

前回調査（1）と比較すると、「利用している」が8.7ポイント増加している。



■ 「お子さん」の学年別の児童館・児童センターの利用状況

上段:回答者数 下段:%	合計	利用している	利用していない	無回答
小学1年生	115	75	38	2
	100.0	65.2	33.0	1.7
小学2年生	110	66	39	5
	100.0	60.0	35.5	4.5
小学3年生	116	68	42	6
	100.0	58.6	36.2	5.2
小学4年生	108	57	46	5
	100.0	52.8	42.6	4.6
小学5年生	112	63	48	1
	100.0	56.3	42.9	0.9
小学6年生	102	58	43	1
	100.0	56.9	42.2	1.0

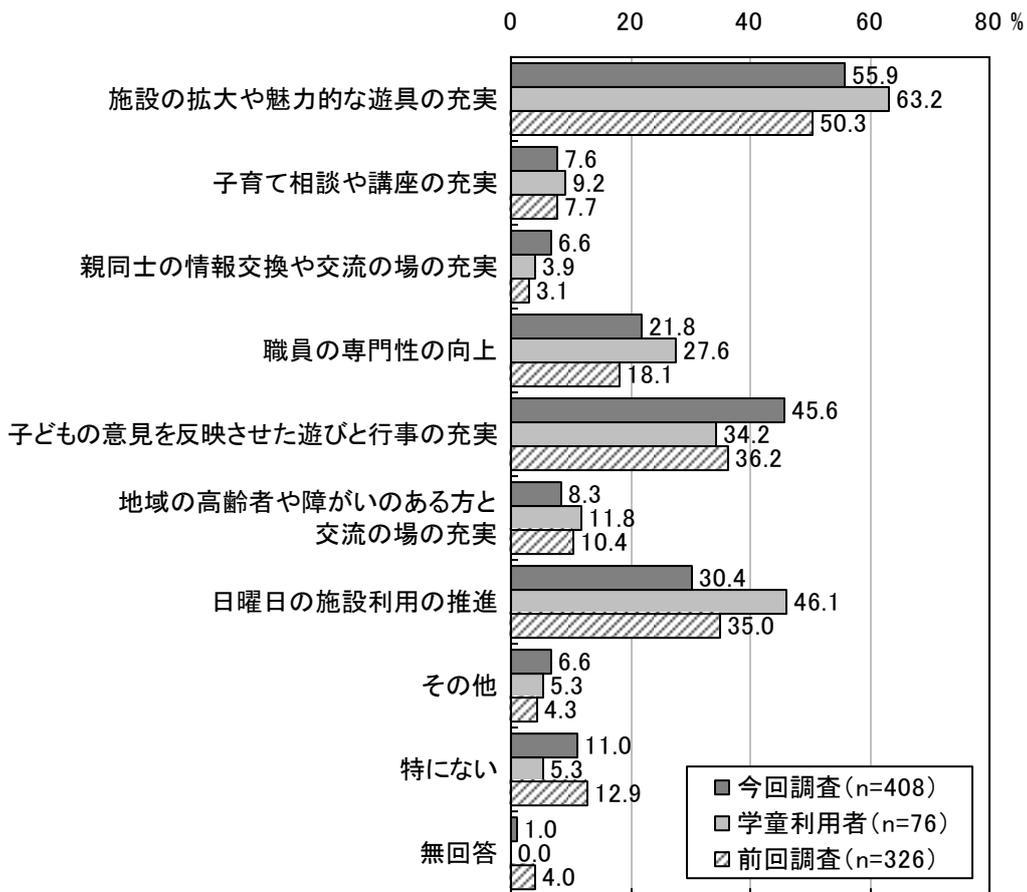
【問 28 で「1」に○をした方】

問 28①- 1 児童館・児童センターへの要望（複数回答＝3つ）

児童館・児童センターへの要望については、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が 55.9% で最も多く、次いで「子どもの意見を反映させた遊びと行事の充実」が 45.6% となっている。

放課後に学童を利用している人の要望をみると、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が最も多く、次いで「日曜の施設利用の推進」が多くなっている。

前回調査（1）と比較すると、「施設の拡大や魅力的な遊具の充実」が 5.6 ポイント、「子どもの意見を反映させた遊びと行事の充実」が 9.4 ポイント増加している。

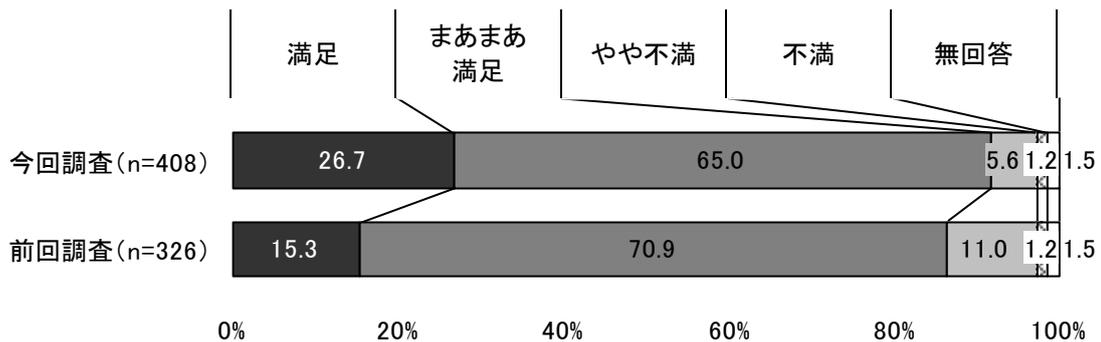


問 28①-2 児童館・児童センターの利用の満足度（単数回答）

児童館・児童センターの利用の満足度については、「まあまあ満足」が65.0%で最も多く、次いで「満足」が26.7%となっている。

「お子さん」の学年別の満足度をみると、小学1年生および3～5年生で「満足」が3割前後、小学2年生で「まあまあ満足」が8割弱となっており、低学年と中学年での満足感が相対的に高い。

前回調査（1）と比較すると、「満足」が11.4ポイント増加している。



■ 「お子さん」の学年別の児童館・児童センターの利用の満足度

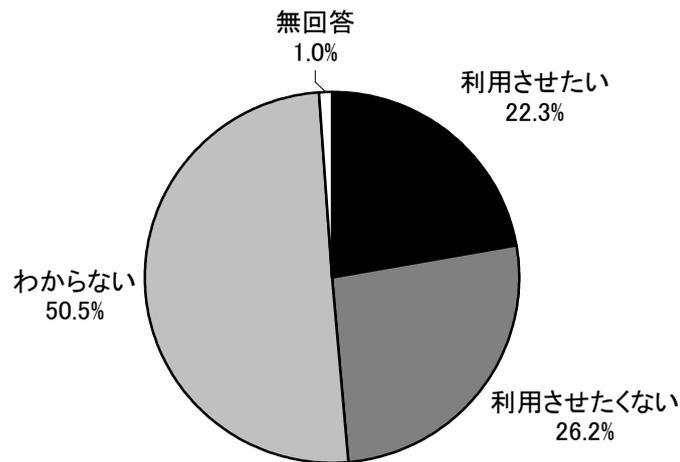
上段:回答者数 下段:%	合計	満足	まあまあ満足	やや不満	不満	無回答
小学1年生	75	23	46	5	0	1
	100.0	30.7	61.3	6.7	0.0	1.3
小学2年生	64	11	50	2	0	1
	100.0	17.2	78.1	3.1	0.0	1.6
小学3年生	68	19	43	5	0	1
	100.0	27.9	63.2	7.4	0.0	1.5
小学4年生	57	19	36	1	1	0
	100.0	33.3	63.2	1.8	1.8	0.0
小学5年生	63	17	39	4	2	1
	100.0	27.0	61.9	6.3	3.2	1.6
小学6年生	57	11	39	5	0	2
	100.0	19.3	68.4	8.8	0.0	3.5

問 28①-3 「お子さん」が、中学生になったときの児童館・児童センターの夜間開館の利用意向（単数回答）

「お子さん」が、中学生になったときの児童館・児童センターの夜間開館の利用意向については、「わからない」が50.5%で過半数を超え最も多く、次いで「利用させたくない」が26.2%、「利用させたい」が22.3%となっている。

「お子さん」の学年別の夜間開館の利用意向をみると、「利用させたい」が小学4年生で3割半ば、6年生で約3割と、他の学年よりも多くなっている。

(SA) n=408



■ 「お子さん」の学年別の夜間開館の利用意向

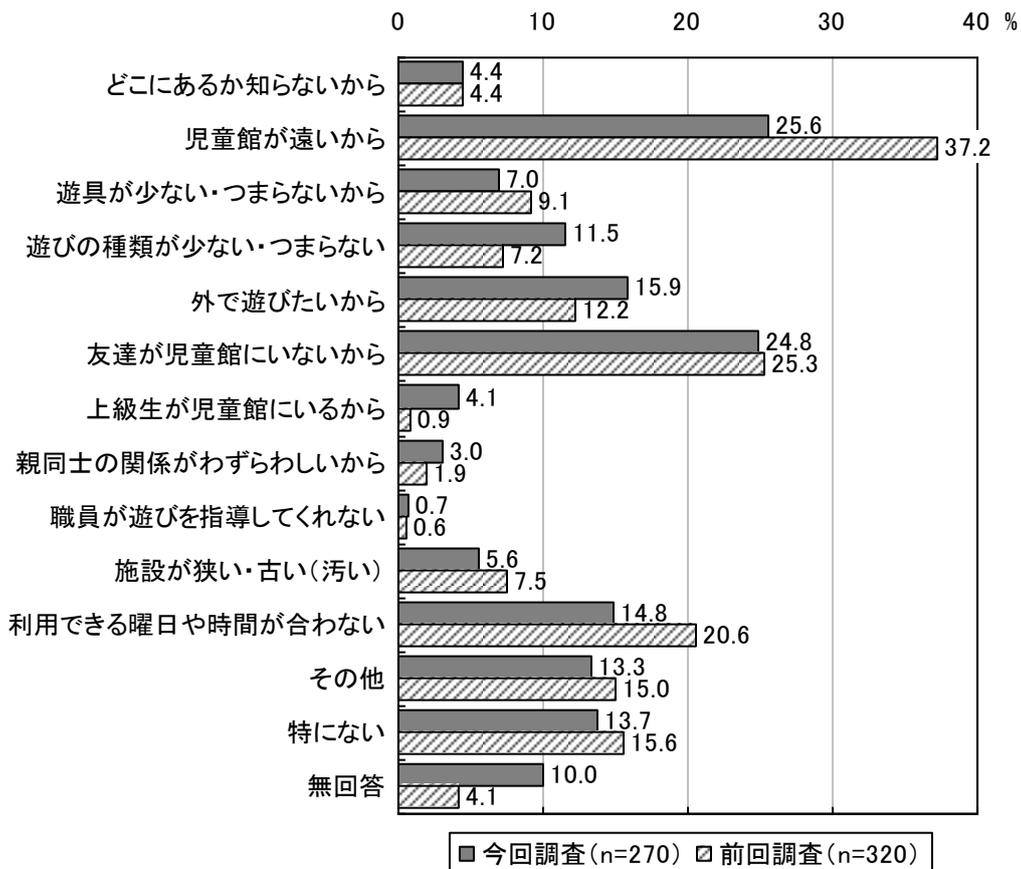
上段: 回答者数 下段:%	合計	利用させたい	利用させたくない	わからない	無回答
小学1年生	75 100.0	10 13.3	20 26.7	44 58.7	1 1.3
小学2年生	64 100.0	11 17.2	15 23.4	36 56.3	2 3.1
小学3年生	68 100.0	14 20.6	20 29.4	34 50.0	0 0.0
小学4年生	57 100.0	20 35.1	10 17.5	27 47.4	0 0.0
小学5年生	63 100.0	10 15.9	18 28.6	34 54.0	1 1.6
小学6年生	57 100.0	17 29.8	16 28.1	24 42.1	0 0.0

【問 28 で「2」を選択した方】

問 28②-1 児童館・児童センター未利用の理由（複数回答＝3つ）

児童館・児童センター未利用の理由については、「児童館が遠いから」が25.6%で最も多く、次いで「友達が児童館にいないから」が24.8%、「外で遊びたいから」が15.9%となっている。

前回調査（1）と比較すると、「児童館が遠いから」や「利用できる曜日や時間が合わない」は割合が少なくなっている一方で、「遊びの種類が少ない・つまらない」や「外で遊びたいから」はやや増加している。

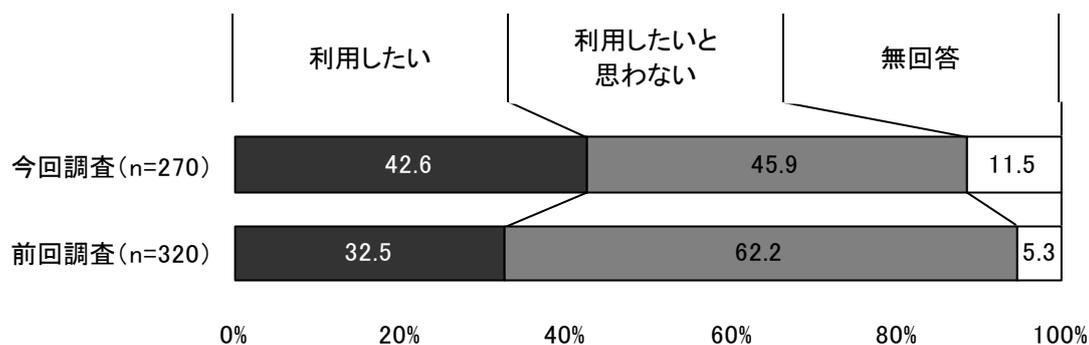


問 28②-2 今後の利用意向（単数回答）

今後の利用意向については、「利用したいと思わない」が 45.9%で、「利用したい」の 42.6%をやや上回っている。

「お子さん」の学年別の今後の利用意向をみると、小学3年生までの低学年では「利用したい」が半数以上となっているものの、高学年になるほど意向は低くなる傾向がうかがえる。

前回調査（1）と比較すると、「利用したい」が 10.1 ポイント増加している。



■ 「お子さん」の学年別の今後の利用意向

上段:回答者数 下段:%	合計	利用したい	利用する予定はない	無回答
小学1年生	38 100.0	23 60.5	12 31.6	3 7.9
小学2年生	39 100.0	21 53.8	15 38.5	3 7.7
小学3年生	42 100.0	21 50.0	17 40.5	4 9.5
小学4年生	46 100.0	20 43.5	18 39.1	8 17.4
小学5年生	48 100.0	15 31.3	26 54.2	7 14.6
小学6年生	43 100.0	12 27.9	27 62.8	4 9.3

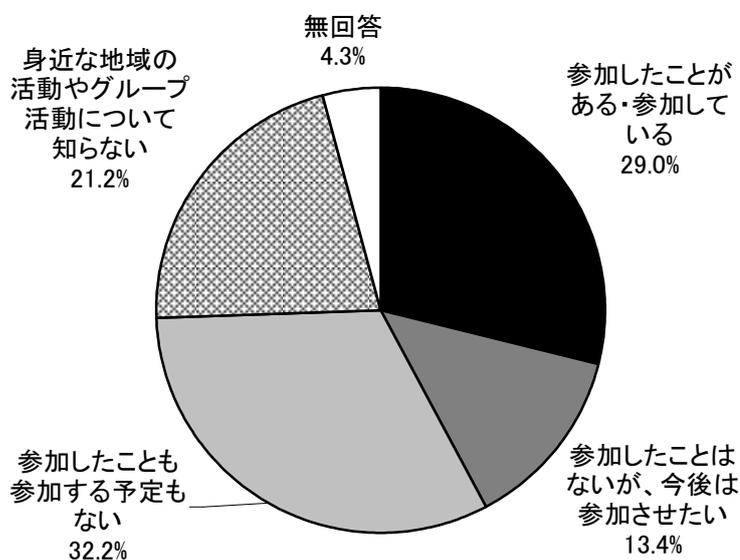
7. 「お子さん」やあなたの生活環境について

問 29 「お子さん」の育成会、ボーイスカウト等の地域活動やグループ活動への参加経験の有無（単数回答）

「お子さん」の育成会、ボーイスカウト等の地域活動やグループ活動への参加経験の有無については、「参加したことも参加する予定もない」が32.2%で最も多く、次いで「参加したことがある・参加している」が29.0%となっている。

学年別の参加経験の有無をみると、小学6年生では4割弱、小学3～4年生では3割程度が「参加したことがある・参加している」と回答している。

(SA) n=704



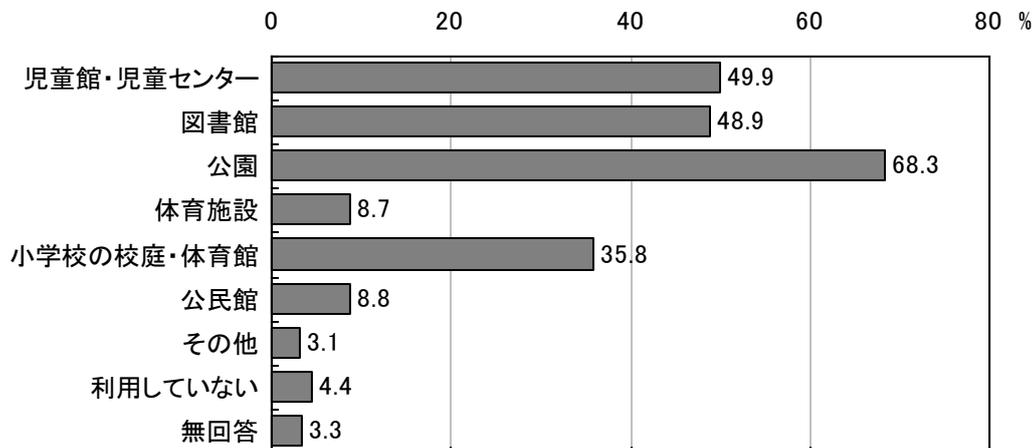
■ 「お子さん」の学年別の地域活動やグループ活動への参加経験の有無

上段:回答者数 下段:%	合計	参加したことがある・参加している	参加したことはないが、今後は参加させたい	参加したことも参加する予定もない	身近な地域の活動やグループ活動について知らない	無回答
小学1年生	115 100.0	26 22.6	18 15.7	31 27.0	36 31.3	4 3.5
小学2年生	110 100.0	21 19.1	21 19.1	30 27.3	30 27.3	8 7.3
小学3年生	116 100.0	36 31.0	18 15.5	32 27.6	24 20.7	6 5.2
小学4年生	108 100.0	35 32.4	11 10.2	39 36.1	17 15.7	6 5.6
小学5年生	112 100.0	33 29.5	14 12.5	45 40.2	18 16.1	2 1.8
小学6年生	102 100.0	39 38.2	8 7.8	38 37.3	17 16.7	0 0.0

問 30 「お子さん」がよく利用する施設（複数回答）

「お子さん」がよく利用する施設については、「公園」が68.3%で最も多く、次いで「児童館・児童センター」が49.9%、「図書館」が48.9%、「小学校の校庭・体育館」が35.8%となっている。

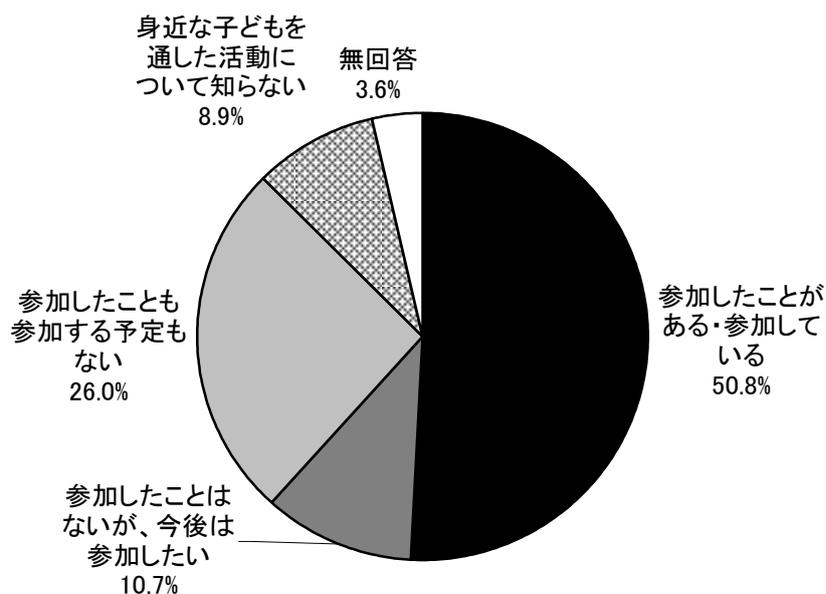
(MA) n=704



問 31 保護者のサッカー、ダンスのクラブチーム等、子どもに関する自主的な活動への参加状況（単数回答）

保護者のサッカー、ダンスのクラブチーム等、子どもに関する自主的な活動への参加状況については、「参加したことがある・参加している」が50.8%で過半数を超えている。

(SA) n=704



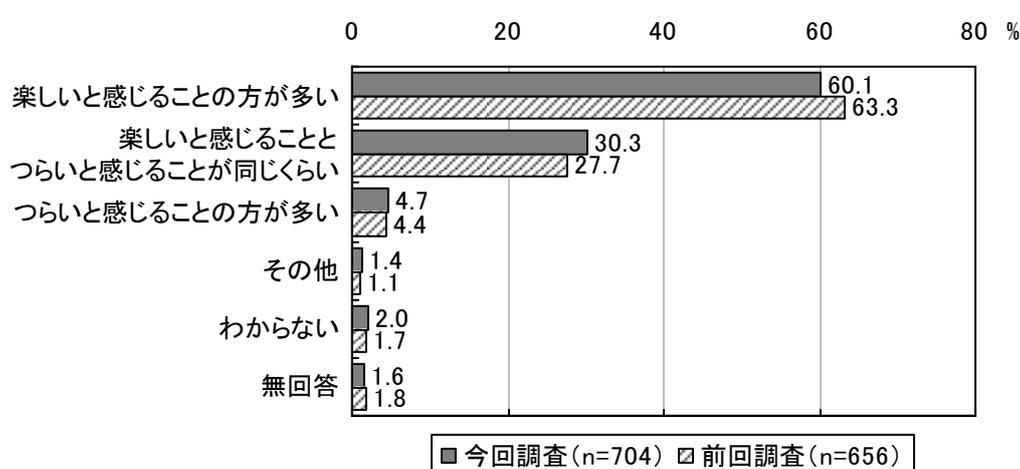
8. 子育て全般について

問 32 子育てを楽しんでいることが多いか、つらいと感じていることが多いか（単数回答）

子育てを楽しんでいると感じることが多いか、つらいと感じることが多いかについては、「楽しいと感じることの方が多い」が60.1%で最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が30.3%となっている。

学年別の状況を見ると、「楽しいと感じることの方が多い」が小学2年生と4～5年生で6割を超えている。また、共働きの状況別では、就労形態にかかわらず共働き世帯で「楽しいと感じることの方が多い」が6割を超え、特に両親ともフルタイムで共働き世帯では約7割となっている。

前回調査（1）と比較すると、おおむね同様の傾向であることがうかがえる。



■ 「お子さん」の学年別・共働きの状況（一部抜粋）別の子育ての楽しさの状況

上段:回答者数 下段:%	合計	楽しいと感じることの方が多い	楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい	つらいと感じることの方が多い	その他	わからない	無回答
小学1年生	115	67	36	8	1	1	2
	100.0	58.3	31.3	7.0	0.9	0.9	1.7
小学2年生	110	67	33	4	2	4	0
	100.0	60.9	30.0	3.6	1.8	3.6	0.0
小学3年生	116	68	35	6	1	2	4
	100.0	58.6	30.2	5.2	0.9	1.7	3.4
小学4年生	108	70	29	5	2	0	2
	100.0	64.8	26.9	4.6	1.9	0.0	1.9
小学5年生	112	69	36	3	2	2	0
	100.0	61.6	32.1	2.7	1.8	1.8	0.0
小学6年生	102	60	31	4	2	4	1
	100.0	58.8	30.4	3.9	2.0	3.9	1.0
父母ともフルタイムで共働き	103	72	22	4	1	2	2
	100.0	69.9	21.4	3.9	1.0	1.9	1.9
父母いずれかがパートで共働き	245	148	78	10	1	5	3
	100.0	60.4	31.8	4.1	0.4	2.0	1.2
父母いずれかが在宅（休業中含む）	217	116	76	11	4	5	5
	100.0	53.5	35.0	5.1	1.8	2.3	2.3

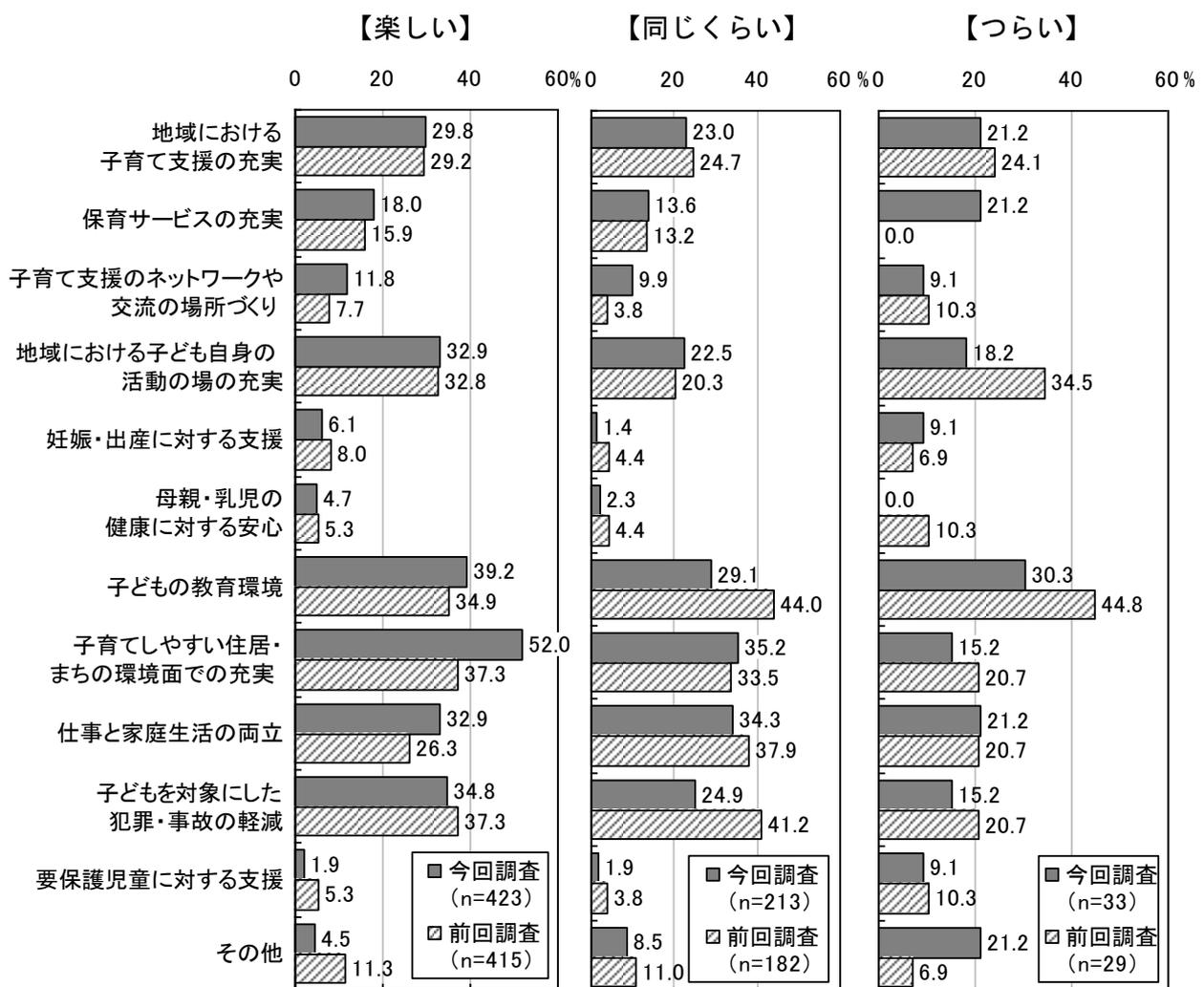
【問 32 で「1」～「3」に○をした方】

問 32① 子育てを楽しんでいることの方が多い方は、子育てをする中で、どのようなことが有効と感じるか、また、子育てを楽しんでいることとつらいと感じることが同じくらいの方およびつらいと感じることの方が多い方は、子育てのつらさを解消するために何が必要か（複数回答＝3つ）

子育てを楽しんでいることの方が多い方の、子育てをする中で、どのようなことが有効と感じるかについては、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が52.0%で最も多く、次いで「子どもの教育環境」が39.2%、「子どもを対象にした犯罪・事故の軽減」が34.8%となっている。

また、子育てを楽しんでいることとつらいと感じることが同じくらいの方は、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が35.2%で最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立」が34.3%となっている。

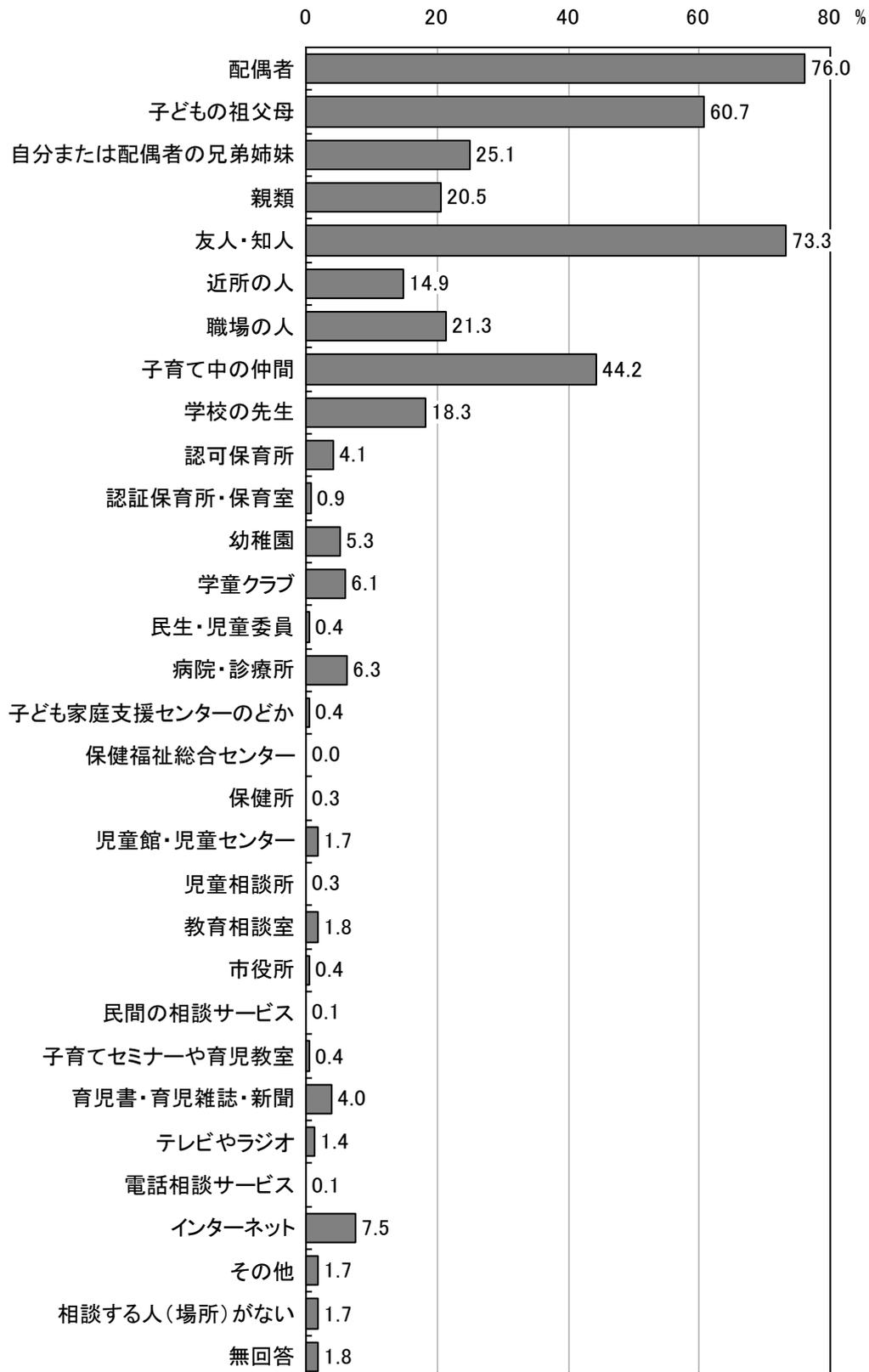
つらいと感じることの方が多い方では、「子どもの教育環境」が30.3%で最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」と「保育サービスの充実」、「仕事と家庭生活の両立」、「その他」がいずれも21.2%となっている。



問 33 子育てについて気軽に相談できるところ（複数回答）

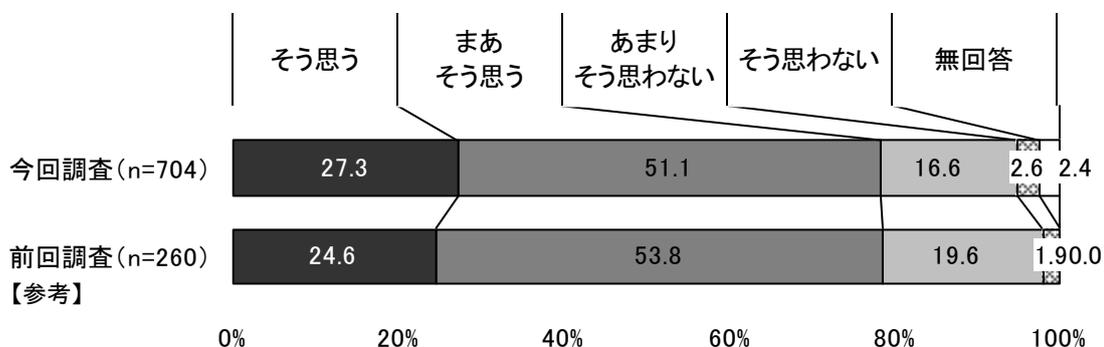
子育てについて気軽に相談できるところについては、「配偶者」が76.0%で最も多く、次いで「友人・知人」が73.3%、「子どもの祖父母」が60.7%となっている。

(MA) n=704



問 34 自分を好きか（単数回答）

自分を好きかについては、「まあそう思う」が51.1%で最も多く、次いで「そう思う」が27.3%となっている。

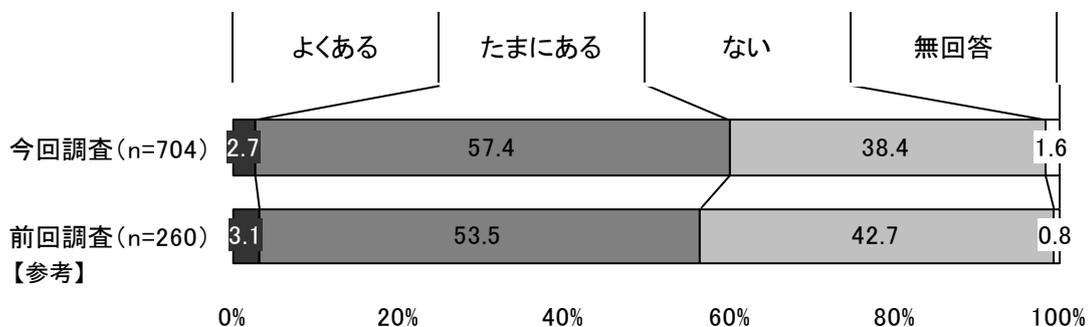


※前回調査結果は、18歳未満のお子さんがある方の抽出である。

問 35 「お子さん」をたたくことがあるか（単数回答）

「お子さん」をたたくことがあるかについては、「たまにある」が57.4%、「ない」が38.4%となっている。

自分を好きかどうか別の「お子さん」をたたくことの有無をみると、自分に対して否定的な感情を持っている人ほど、「よくある」と「たまにある」を合わせた『ある』の割合が高くなっている。



※前回調査結果は、18歳未満のお子さんがある方の抽出である。

■自分を好きかどうか別の「お子さん」をたたくことの有無

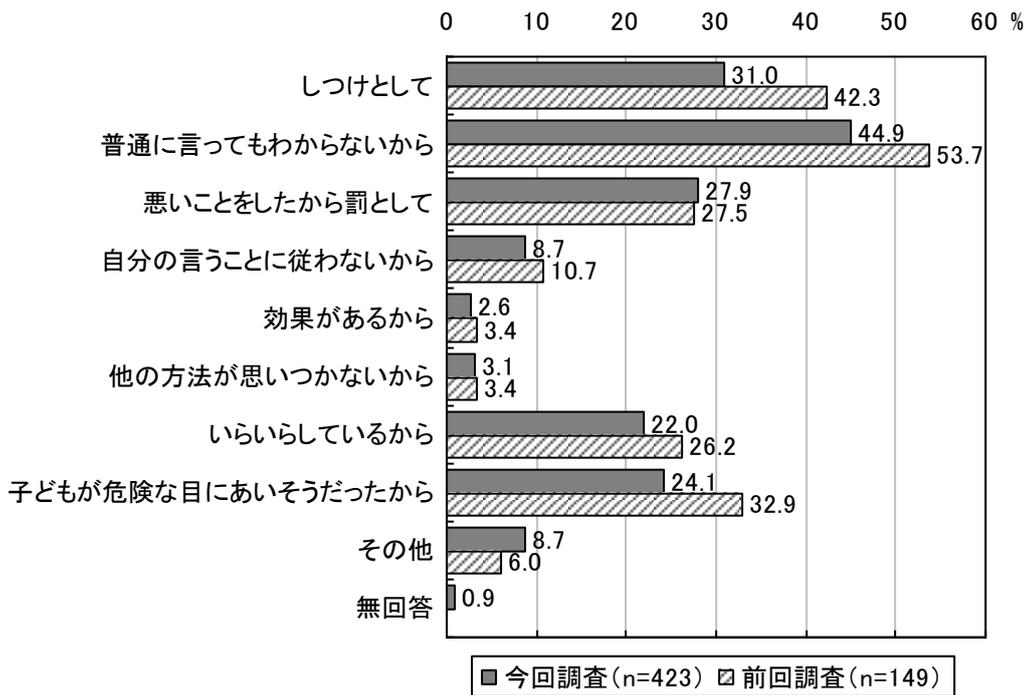
上段:回答者数 下段:%	合計	よくある	たまにある	ない	無回答
そう思う	192	4	98	90	0
	100.0	2.1	51.0	46.9	0.0
まあそう思う	360	4	212	142	2
	100.0	1.1	58.9	39.4	0.6
あまりそう思わない	117	8	77	32	0
	100.0	6.8	65.8	27.4	0.0
そう思わない	18	2	14	2	0
	100.0	11.1	77.8	11.1	0.0

【問 35 で「1」または「2」に○をした方】

問 35① 「お子さん」をたたく理由（複数回答）

「お子さん」をたたく理由については、「普通に言ってもわからないから」が44.9%で最も多く、次いで「しつけとして」が31.0%、「悪いことをしたから罰として」が27.9%となっている。

自分を好きかどうか別の「お子さん」をたたく理由をみると、自分のことを好きではないと思う人では「普通に言ってもわからないから」や「いらいらしているから」が特に多くなっている。



【参考】

※前回調査結果は、18歳未満のお子さんがある方の抽出である。

■自分を好きかどうか別の「お子さん」をたたく理由

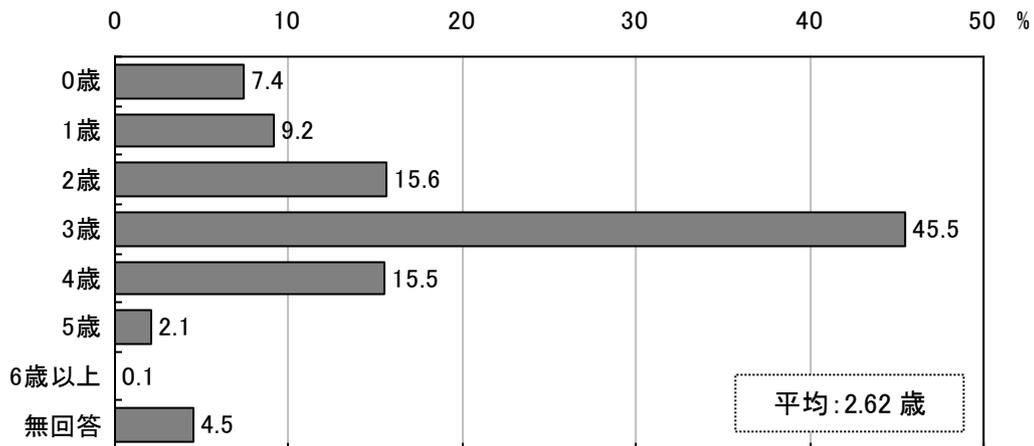
上段:回答者数 下段:%	合計	しつけとして	普通に言ってもわからない	悪いことをした罰	自分の言うことに従わない	効果がある	他の方法が思いつかない	いらいらしている	子どもが危険な目にあいそうだった	その他	無回答
そう思う	102	30	37	35	12	5	2	18	19	12	0
	100.0	29.4	36.3	34.3	11.8	4.9	2.0	17.6	18.6	11.8	0.0
まあそう思う	216	67	100	54	10	3	4	42	61	11	3
	100.0	31.0	46.3	25.0	4.6	1.4	1.9	19.4	28.2	5.1	1.4
あまりそう思わない	85	27	40	25	12	3	5	22	19	11	0
	100.0	31.8	47.1	29.4	14.1	3.5	5.9	25.9	22.4	12.9	0.0
そう思わない	16	6	11	2	2	0	1	8	2	2	1
	100.0	37.5	68.8	12.5	12.5	0.0	6.3	50.0	12.5	12.5	6.3

問 36 子どもの育ちのために必要な乳幼児期の集団での保育・教育にふさわしい年齢・週あたりの日数・1日あたりの時間（数量回答）

子どもの育ちのために必要な乳幼児期の集団での保育・教育にふさわしい年齢・週あたりの日数・1日あたりの時間については、年齢は「3歳」が最も多く平均は2.62歳、週あたりの日数は「5日」が最も多く平均は3.86日、1日あたりの時間は「5時間」が最も多く平均は4.37時間となっている。

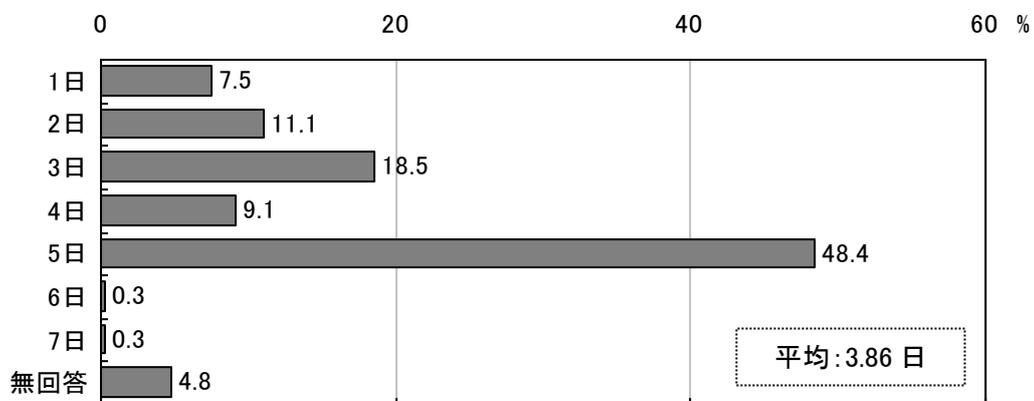
【年齢】

(数量) n=704



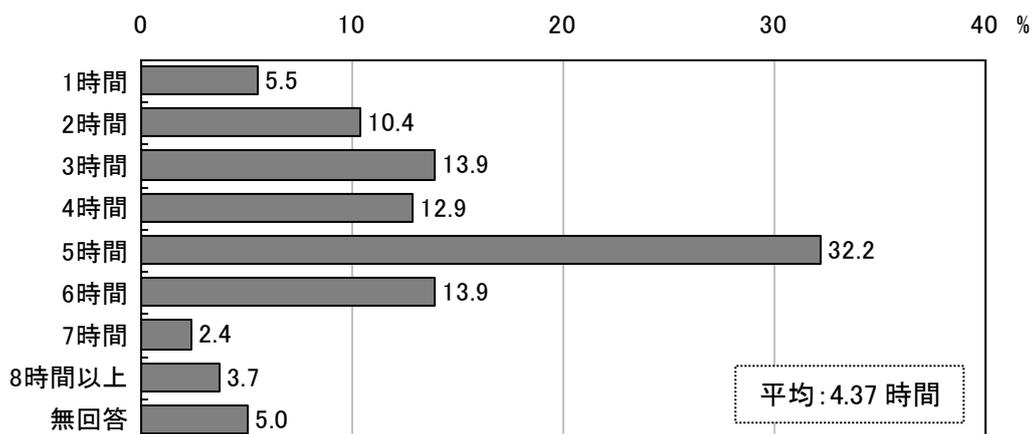
【週あたりの日数】

(数量) n=704



【1日あたりの時間】

(数量) n=704

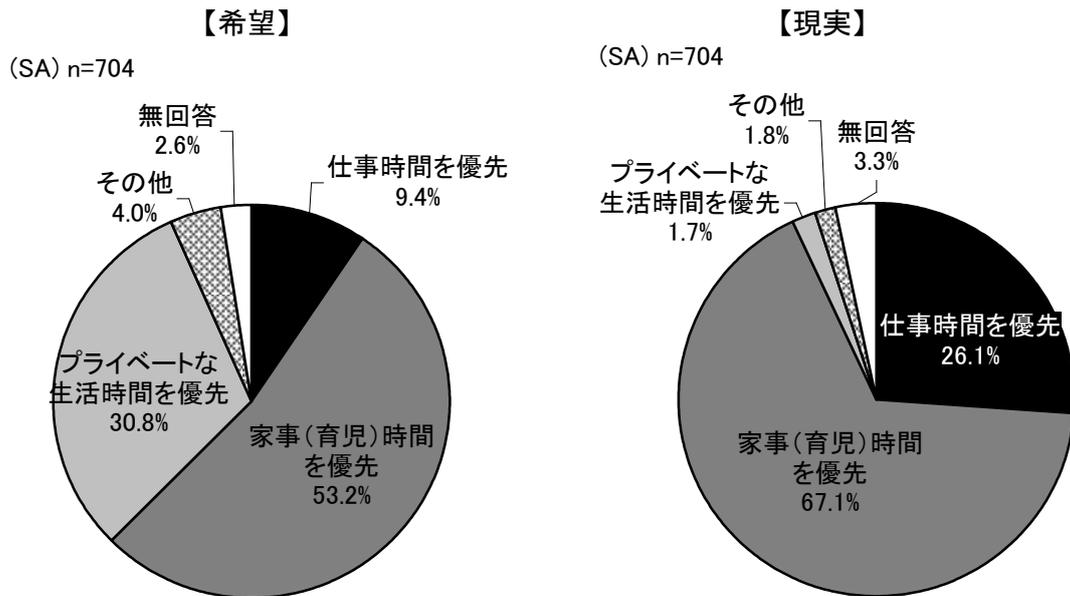


問 37 あなたの生活の中の優先度（「希望」と「現実」で、それぞれ単数回答）

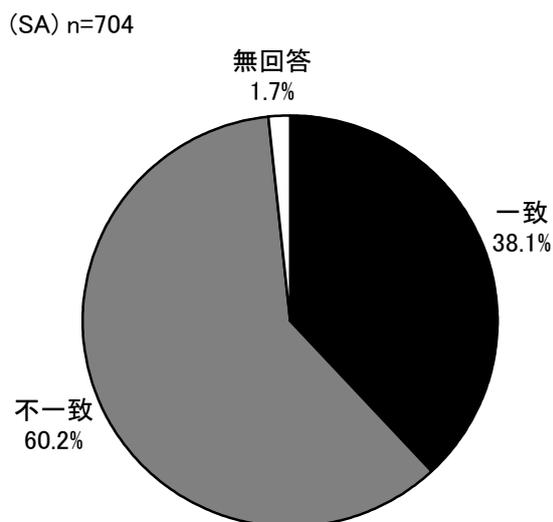
あなたの生活の中の優先度については、希望としては、「家事（育児）時間を優先」が53.2%で最も多く、次いで「プライベートな生活時間を優先」が30.8%となっている。しかし、現実では、「家事（育児）時間を優先」が67.1%で最も多く、次いで「仕事時間を優先」が26.1%となっており、「プライベートな生活時間を優先」は1.7%と少なくなっている。

また、希望と現実が一致している人は約4割となっている。

「お子さん」の学年別の一致の状況を見ると、小学4年生および6年生で「一致」が4割を超えており、特に4年生では4割半ばと半数弱の人が「一致」していると感じている。



【希望と現実が一致している】



■ 「お子さん」の学年別の一致の状況

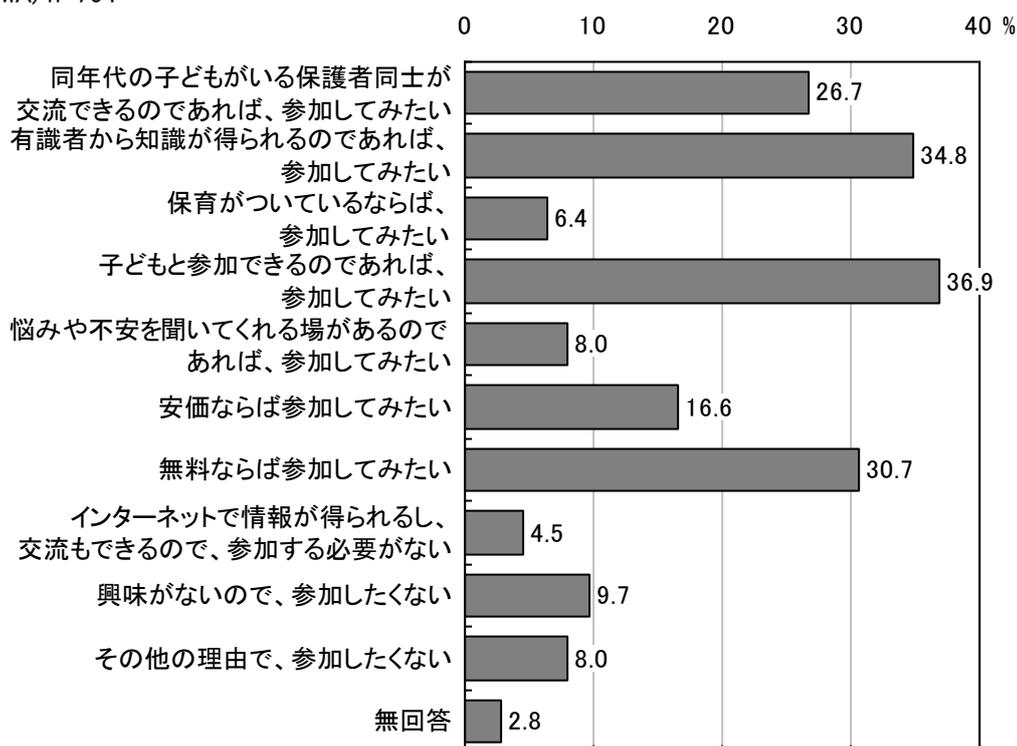
上段:回答者数 下段:%	合計	一致	不一致	無回答
小学1年生	115	41	72	2
	100.0	35.7	62.6	1.7
小学2年生	110	42	68	0
	100.0	38.2	61.8	0.0
小学3年生	116	42	72	2
	100.0	36.2	62.1	1.7
小学4年生	108	49	57	2
	100.0	45.4	52.8	1.9
小学5年生	112	37	73	2
	100.0	33.0	65.2	1.8
小学6年生	102	41	60	1
	100.0	40.2	58.8	1.0

問 38 市や地域のサークルなどが主催するイベントや講習への参加意向（複数回答＝3つ）

市や地域のサークルなどが主催するイベントや講習への参加意向については、「子どもと参加できるのであれば、参加してみたい」が36.9%で最も多く、次いで「有識者からの知識が得られるのであれば、参加してみたい」が34.8%、「無料ならば参加してみたい」が30.7%となっている。

「お子さん」の参加意向をみると、小学校低学年では「子どもと参加できるのであれば、参加してみたい」が多く、高学年では参加意向が低い傾向がうかがえる。

(MA) n=704



■ 「お子さん」の学年別の参加意向（条件）

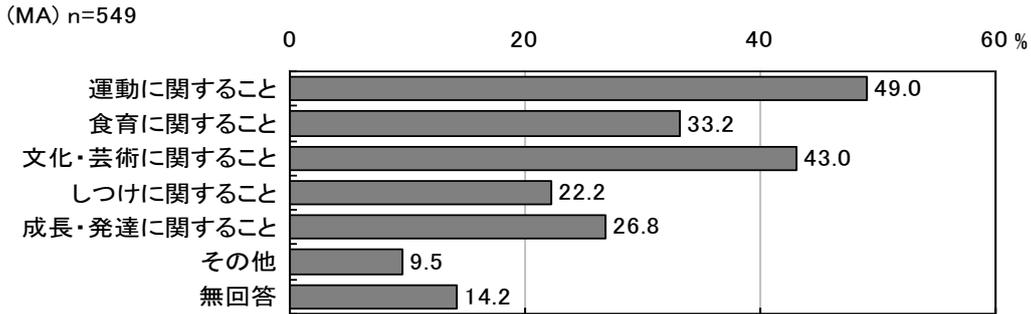
上段: 回答者数 下段:%	合計	同年代の子どもがいる保護者同士が交流できる	有識者から知識が得られる	保育がついている	子どもと参加できる	悩みや不安を聞いてくれる場がある	安価である	無料である	参加する必要がない	興味がないので、参加したくない	その他の理由で、参加したくない	無回答
小学1年生	115	35	36	11	54	10	26	38	10	6	3	3
	100.0	30.4	31.3	9.6	47.0	8.7	22.6	33.0	8.7	5.2	2.6	2.6
小学2年生	110	29	40	13	47	4	11	28	5	9	8	2
	100.0	26.4	36.4	11.8	42.7	3.6	10.0	25.5	4.5	8.2	7.3	1.8
小学3年生	116	33	40	8	51	13	18	39	1	7	10	6
	100.0	28.4	34.5	6.9	44.0	11.2	15.5	33.6	0.9	6.0	8.6	5.2
小学4年生	108	26	39	4	41	5	25	34	5	9	13	3
	100.0	24.1	36.1	3.7	38.0	4.6	23.1	31.5	4.6	8.3	12.0	2.8
小学5年生	112	31	41	3	30	10	14	36	6	18	7	2
	100.0	27.7	36.6	2.7	26.8	8.9	12.5	32.1	5.4	16.1	6.3	1.8
小学6年生	102	23	37	4	23	11	19	27	4	11	10	2
	100.0	22.5	36.3	3.9	22.5	10.8	18.6	26.5	3.9	10.8	9.8	2.0

【問 38 で「1」～「7」のいずれかに○をした方】

問 38① 具体的に参加したい活動（複数回答）

具体的に参加したい活動については、「運動に関すること」が49.0%で最も多く、次いで「文化・芸術に関すること」が43.0%、「食育に関すること」が33.2%となっている。

「お子さん」の学年別の具体的に参加したい活動をみると、小学校の低学年では「運動に関すること」が半数を超えている。また、小学5～6年生では「成長・発達に関すること」が約3割で、他の学年よりやや多い。さらに、参加意向（条件）別では、安価であるという条件に対しては、運動や文化・芸術に関することへの希望が他の項目に比べて高くなっている。



■ 「お子さん」の学年別・参加意向（条件）別の具体的に参加したい活動

上段:回答者数 下段:%	合計	運動に関すること	食育に関すること	文化・芸術に関すること	しつけに関すること	成長・発達に関すること	その他	無回答
小学1年生	95 100.0	50 52.6	38 40.0	39 41.1	19 20.0	22 23.2	9 9.5	12 12.6
小学2年生	86 100.0	47 54.7	28 32.6	39 45.3	24 27.9	22 25.6	11 12.8	10 11.6
小学3年生	94 100.0	53 56.4	28 29.8	46 48.9	26 27.7	24 25.5	10 10.6	10 10.6
小学4年生	85 100.0	35 41.2	27 31.8	34 40.0	14 16.5	21 24.7	7 8.2	15 17.6
小学5年生	84 100.0	34 40.5	26 31.0	30 35.7	17 20.2	26 31.0	5 6.0	16 19.0
小学6年生	77 100.0	36 46.8	25 32.5	34 44.2	16 20.8	22 28.6	7 9.1	11 14.3
同年代の子どもがいる保護者同士が交流できる	188 100.0	98 52.1	67 35.6	69 36.7	56 29.8	62 33.0	14 7.4	25 13.3
有識者から知識が得られる	245 100.0	109 44.5	90 36.7	118 48.2	68 27.8	80 32.7	23 9.4	34 13.9
保育がついている	45 100.0	24 53.3	18 40.0	20 44.4	16 35.6	15 33.3	6 13.3	3 6.7
子どもと参加できる	260 100.0	149 57.3	103 39.6	128 49.2	44 16.9	58 22.3	25 9.6	33 12.7
悩みや不安を聞いてくれる場がある	56 100.0	21 37.5	10 17.9	14 25.0	26 46.4	28 50.0	5 8.9	11 19.6
安価である	117 100.0	67 57.3	50 42.7	68 58.1	21 17.9	35 29.9	10 8.5	12 10.3
無料である	216 100.0	112 51.9	66 30.6	96 44.4	48 22.2	68 31.5	28 13.0	29 13.4

